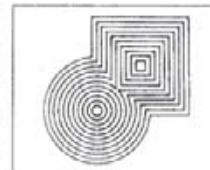


モノグラフ・高校生'93

vol. 37 日韓高校生の大学受験



静岡 大学 教授 深谷 昌志

●目次

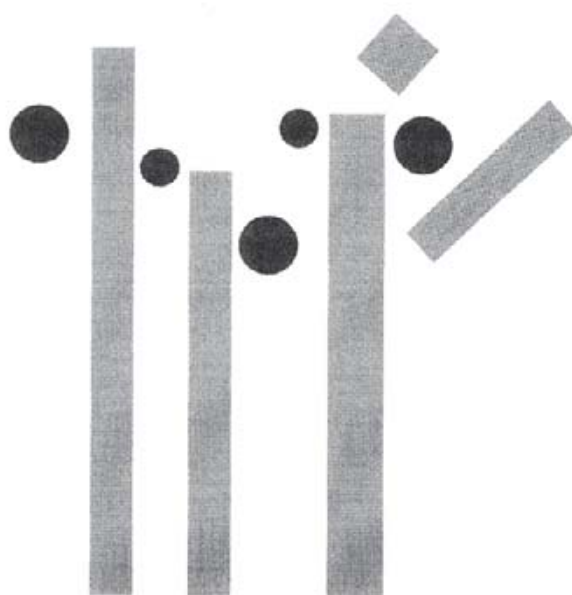
〔座談会〕日韓比較調査から－韓国高校生の大学進学をめぐって	3
〔調査レポート〕日韓高校生の大学受験	11
要約	12
第Ⅰ章 高校生の生活	
1. テレビ視聴	14
2. 勉強時間	18
第Ⅱ章 大学進学を目指して	
1. 高校生活	23
2. 学業成績	27
3. 将来への見通し	31
第Ⅲ章 将来の家庭生活	
1. 結婚の型	37
2. 結婚生活	40
3. 女性の生き方	44
第Ⅳ章 日韓のイメージ	
1. アメリカの高校生	47
2. 日本の高校生	53
3. 韓国の高校生	56
〔小学生を対象とした国際比較調査から〕(抜粋)	59
第Ⅰ章 子どもの描く未来の自分	
1. いつまで学校へ行きたいか	61
2. つきたい職業	63
3. ソウルの受験勉強	67
第Ⅱ章 子どもの幸福感をめぐって	
1. 起床から就寝まで	70
2. 食事のとき空腹か	72
3. 灰色の気分	73
4. 子どもたちのしあわせ感	75
〔特別寄稿〕	
日韓の子どもと若者の間に新たな“ <small>コンガムデー</small> 공감대(共感帯)”の創造を	馬居政幸 78
星空に下校する韓国の高校生	夫 伯 83
資料1 調査票見本(日本語版・韓国語版)	87
資料2 国別集計表	101

*おことわり：本文中に使用した写真は、本文・テーマとは一切関係ありません。

〔座 談 会〕

日韓比較調査から —————

韓国高校生の大学進学をめぐるって



座談会

日韓比較調査から 韓国高校生の大学進学をめぐる

出席者 馬居政幸先生（静岡大学助教授）
金 柄住さん（筑波大学大学院研究生）
李 柱禎さん（東京学芸大学大学院生）

進 行 深谷昌志先生（静岡大学教授）

〔はじめに〕

韓国は日本にとって、近くて遠い国という印象を受ける。距離的に隣接し、九州からフェリーで釜山に行けるし、成田からでも、国内線の飛行時間でソウルに到着する。

しかし、キムチや焼き肉など、韓国文化が日本に入っているにもかかわらず、その実際は、日本人の多くは韓国をよく知らないのではないかと思う。

アメリカのことは、情報も多く入ってくるし関心もあるので、かなりのことまでわかっている。一方、韓国になると、韓国の人たちのふだんの生活が、あまり伝わってこない。

そういう筆者にしたところで、韓国を初めて訪れたのは10年ほど前だが、文化的なショックを受けて、ソウルの街を歩いたのを思いおこす。

そこでデータの紹介に先だって、まず、韓国からの留学生に来てもらい、韓国の受験事情を語ってもらった。韓国の教育事情に詳しい方は、直接本文に入ってほしいが、多くの方々は、この座談会に目を通した後にデータを読んでほしいと思う。

（深谷 昌志）

韓国の大学入試制度

深谷 これまで「モノグラフ・高校生」では様々な高校生の意識調査をしてきました。今回は馬居先生のご協力を得て、日本と韓国で調査をしましたので、本日はこの調査結果をふまえながら、いろいろとお話しいただきたいと思います。

今回の調査結果をみますと、いわゆる進学校を調査校に設定したこともあると思いますが、むずかしい大学へ入りたいという生徒は日本が27%、韓国が28%、ふつうの大学へは日本が60%、韓国が62%という結果が得られており、両国ともに9割の生徒が大学へ入りたいと希望しています。そこで、まずはじめに、韓国における大学受験の制度をおうかがいしたいと思います。

李 最近が変わってきているかもしれませんが、私が大学に入った頃は、大学入学試験が年1回あり、4年制の大学はいちばんむずかしい前期大学、次に後期大学、それに日本の短期大学にあたる専門大学というように、難易度によって3つの入学試験がありました。

深谷 そうしますと、ソウル大、高麗（コリョウ）大、延世（ヨンセ）大などは前期大学なのですか。

金 そうです。

深谷 入試科目はどのくらいあるのですか。

李 現在は8～9科目あります。国語（現代文と古文）、数学、地理、歴史（国史と世界史）、自然科学などがあり、それに女子は家庭科、男子は技術があります。

馬居 外国語は2つあるとお聞きしましたが。

金 私は85年入学でしたが、その頃は外国語は英語だけでした。86年に第二外国語として、ドイツ語、フランス語、中国語、日本語、スペイン語が加わり、その中から1つを選択できるようになりました。

李 私のおときは英語の代わりに、ドイツ語、日本語でも受験できました。

馬居 来年（93年）から、大学によっては日本語では受験できなくなるそうですね。

金 そうです。ごく一部の大学でそうなったんですが、その中にソウル大学が入っているために、いろいろな論議が起きています。

深谷 合格点は全教科のトータルで決まるのですか。

李 教科のほかに体力検査もあります。20点の体力検査も含めて、340点満点なんです。

深谷 日本ですと、共通テストのほかに各大学でも試験がありますが、そういうことはないのですか。

金 私の時代は、面接もありました。来年（93年）からは、日本のように各大学での試験が始まるそうです。

馬居 韓国は教育制度が比較的短期間に変わるようで、大学入試制度がよく変わるなという印象がありますね。

深谷 大学は何校か志望することはできるのですか。

金 昔はできたかもしれませんが、私の時代は、1校だけでした。しかし、例えばソウル大学でしたら、ソウル大学の中でいくつかの学部が志望できるわけです。

深谷 そうしますと、あまり気が進まない学部に行くということもあるのですね。

金 ええ。そのためしかたなく、浪人するという人もいます。

深谷 340点満点のうち、例えばソウル大学でしたら、合格点はどれくらいでしょうか。

李 志望する学部によっても違いますが、280点から310点くらいだと思います。

ソウルにある一流大学を目指す

深谷 韓国で一流大学と呼ばれるのはどんな大学ですか。

李 ソウル大、延世大、高麗大の3つでしょうか。女子大学では、梨花女子大学があります。

馬居 ソウル市以外にある国立の大学はどの程度なのでしょうか。

金 韓国では一流大学はソウルに集中しているんです。大学へ入ってくる学生のレベルは地方の国立大学へ入学する学生のほうが高

い場合もあるかもしれませんが、就職のことを考えると、ソウルにある大学に入ったほうが有利と言えると思います。

深谷 そうしますと、みなさんソウルに集まってくるのでしょうか。

馬居 私の知り合いは釜山（プサン）の生まれですが、ソウルにある大学に入るために彼が高校入学のとき、一家をあげてソウルに転居しました。釜山の大学を出てソウルの企業に就職することはなかなかむずかしいのですか。

金 そう思います。

深谷 そうしますとオーバーな言い方をすると、みんなが、ソウル大、延世大、高麗大を目指していくということになりますね。

馬居 その3つの大学と、それ以外では、かなりの差があるのですか。

金 入試の点数に限って言うならば、確かに差はあると言えます。

深谷 韓国の場合には兵役がありますね。そうしますと、男子は1年しか浪人できないということになりますか……。

金 男子の場合、一応20歳（韓国は数え年のため日本では19歳）になると、兵役の検査を受けるわけです。ですから1年浪人して落ちると、ほとんどの人は兵役にとられます。しかし早めに小学校に入学する子もいますから、2年は浪人できるという話もあります。

深谷 兵役は何年ですか。

金 原則としては30か月ですが、身体検査の結果によっては18か月や6か月の兵役ですむ場合もあり、これを防衛兵と呼んでいます。

学校で深夜まで猛勉強した高校時代

深谷 これまでのお話を総合しますと、大学に入るためにはいろんな科目を勉強し、しかも相当に高い点数をとらないと入学できない。そうしますと、高校生はかなり勉強しなければならないと思いますが、おふたりは高校時代はどのくらい勉強しましたか。

李 私の場合、学校の授業が終わったあと自律学習として、学校で夜の8時から9時まで

勉強しました。友だちの中には、その後も読書室（自習のための部屋）に行っている人もいました。

馬居 学校に残って勉強するようにと先生もおっしゃるんですか。

李 そうですね。

馬居 学校で夜の8時、9時頃まで勉強するというだけでも大変だと思うのですが、それからまた、町のいわゆる読書室に行く人もいますか。

李 行く人もいます。

金 ソウル大学合格者の人数が学校ごとに新聞に掲載されたりするものですから、ものすごい競争になってしまうのです。校長先生をはじめ、先生方はそろって生徒たちに勉強させるようにするわけです。高校時代、私の高校からはソウル大へ25人から30人入学しました。1年生はふつうの授業が5時頃に終わりますが、2年になるとかなりきびしくなります。それが3年になると、さらにきびしくなり、みんな夜10時頃まで学校で勉強させられました。私の場合は家から学校が近かったので3年生のときは、深夜12時、1時頃まで学校で勉強しました。

深谷 金さんは読書室には行かなかったのですか。

金 あの当時は読書室にちょっと悪いウワサがありまして、親が行かせてくれなかったのです。最近が変わってきたと思いますが。

馬居 学校で勉強するときは、やはり教室でですか。

金 はい、そうです。

馬居 そうしますと、朝から夜中の12時、1時まで自分の椅子にすわりっぱなしということになりますね。

金 3年のときは朝6時頃登校して、深夜まで学校で勉強しましたね。

馬居 食事はどうしていたんですか。

金 お弁当を2つか3つ持っています。あまり思い出したくない話ですが……。

深谷 日本の場合、世間的に一流大学というのはありますが、一流大学を出ても初任給は

あまり変わらないし、あとの昇進も民間企業の場合はほとんど差がないといってもいいと思います。その点、韓国はどうですか。

金 韓国も初任給は同じだと思います。しかし、昇進がかなり違ってきます。公務員も民間企業もトップ層は、やはり一流大学の出身者ですね。

深谷 一流企業といわれているのはいくつくらいあるのですか。

金 年末に1年の総決算ということで大企業が新聞に掲載されるんですが、だいたい30社くらいですね。

大企業と中小企業では給料や福利厚生面でかなり差があり、どうしても大企業を目指すということになると思います。

李 大学を出ても、自分が専攻した分野にみあった仕事がないと、就職浪人する人もいるくらいです。

馬居 先ほど深谷先生がおっしゃったように日本では一流大学を出たからといって初任給はそう変わりませんが、私が韓国に行って感じるのは、大学に入ることが日本とちょっと違うなということです。自己目的化している部分もあるんでしょうが、一種の実利性とセットになっているように感じました。

深谷 私が大学を出たのは昭和30年代ですが、その頃は大学進学率は10%くらいで、大学を出たあとの行き先はみな決まっていたし、今のよう、大学を出てセールスをやるというようなことは考えられませんでしたね。

馬居 私は1968年に大学へ入りましたが、当時、大学を卒業した人が清涼飲料水の瓶運びをやっているということが話題になったのを覚えています。

深谷 大学卒にふさわしい仕事ということを日本の若者はあまり考えていないのではないかと思うのですが、韓国の学生は大学を卒業したら、それなりの仕事につきたいという気持ちが強いですよね。

図書館は受験生の勉強の場

深谷 話は変わりますが、日本に来てどのく



深谷昌志先生

らいになるのですか。

金 私は2年とちょっとです。

深谷 日本の大学生とか日本の受験状況をどのように感じますか。

李 日本は大学によって受験日が違うために複数の大学が受験できるなど、受験生は韓国よりも恵まれていると思います。

金 日本に来て最初に感じたことは、日本の学生はあまり勉強をしないなということでした。その代わりに何に対しても一生懸命やっている。アルバイトにしてもクラブ活動にしてもです。

深谷 日本の学生よりも韓国の学生のほうが一生懸命勉強していると思いますか。

李 そうですね。例えば図書館ですが、韓国の図書館は夜の10時、あるいは12時まで開館していて、学生たちは図書館を利用することが多いのです。

金 それには理由があると思うのです。韓国の学生は大学入学後も一生懸命勉強しなければならない。というのは、就職の際には入社試験があり、それに合格するためには相当な勉強が必要なんです。

馬居 韓国の図書館が朝早くから夜遅くまで開いているということは、それだけ利用者があるということなのです。つまり、受験生の勉強用の場として図書館を作っているという感じですね。

深谷 試験は大学受験で終わらないというわけですね。

李 先ほど申しあげましたように、就職でも浪人したりするくらいですから……。

深谷 大学入試のためにものすごく勉強しな

ければならないということについて、改革しようという話は出てこないのでしょうか。

金 それはあると思います。しかし、入学希望者が大学の定員を大きく上回っているという現状では、これとって有効な対策はないようです。

馬居 80年代のはじめに大きな教育改革がありました。高校を連合考査という総合選抜制にして、それまでのような名門高校に入るためのものすごい競争を緩和しようとしたのですが、10年たったら、また一種の名門校ができてしまっているようです。そのため、現在は、再び大きな改革を試みる時期ではないかと思えます。

深谷 連合考査には私立も含まれているんですか。

馬居 建前としては一括して入れていると思えます。ただし、新設の外国語高校については除外されています。

女子高校生の生き方

深谷 次に、今回のデータをみていて感じた

のですが、日本の女子はずっと仕事を持っていきたいというのが24%なんです。韓国では76%です。それから朝ごはんは奥さんが全部作るというのが日本ですと44%、韓国は11%なんです。全体として、韓国の高校生がかなり自立した自分の人生を歩もうという意識が強いようなのですが、こうした結果についてどう思いますか。

李 今の高校生の意識は、私たちの世代と比べると、ものすごく変化していると思えます。一見、この結果は意外に思われるかもしれませんが、私は納得できるんです。韓国には女性が働きたくても働く場所が少ない。そうした社会の中において、韓国の高校生は仕事をしたいという気持ちが、日本の高校生よりも強くなっているのではないのでしょうか。

馬居 ソウルでは経済的に生活があるレベルに保とうとすると夫婦共働きをしないと無理だという話をよく聞くのですが、そうしたことも女子の働きたいという意識に影響しているのではないのでしょうか。

李 経済的な面からだけでなく、自分の仕



金 柄住 (キム・ピョンジュ) さん

筑波大学大学院研究生。1985年高校、1990年大学卒業後、1990年来日。日本近代文学「宮沢賢治」専攻。



李 柱讓 (イ・ジュヤン) さん

東京学芸大学大学院生。1982年高校、1986年大学卒業後、1990年来日。日本近代文学「志賀直哉」専攻。

事を持ちたいという意識は私の高校時代もありましたから、今の時代はもっともっと強くなっているんだと思います。

馬居 自立の意識は日本より強いのではないですか。

金 そうかもしれません。李さんは結婚後の朝ごはんはどうかしますか。

李 朝ごはんは自分で作りたと思っていますが、手伝ってもらえればもちろんうれしいですね。

深谷 韓国のお父さん、お母さんは日本と比べて違いますか。

李 金さんや私の世代には父親は絶対的な存在だったと思います。

深谷 お父さんはごはんを作ったりしないんですか。

金 そういうことは、まずありえないと思います。

馬居 この間、大田(テジョン)で忠南(チュンナム)大学の学生と話したときに、あなたがお父さんに結婚を反対されたらどうするかと聞きましたら、当然お父さんに従うという答えだったんです。なぜかという、お父さんは経験がある方だからというんですね。

深谷 そうしますと、夫と妻では基本的には夫のほうが強いわけですね。

馬居 もっとも、最近の若い夫婦については、男が軟弱になったという声も聞かれますね。しかし、母親の子どもへの愛情はものすごいものがあると思います。日本では母子一体化が問題にされることが多いのですが、韓国の場合は、より大きな課題があると言えるかもしれません。

李 韓国の母親は、非常に献身的です。

深谷 どんどころが献身的なのですか。

馬居 食事のときにそう感じたことがあります。私と学生がある家庭に招待されたときのことですが、そこのお母さんは料理を作っただけで、一緒に食事をしませんでした。こうした光景をみて、うちの学生は不思議がっ



馬居政幸先生

ていました。最近では、欧化が進み、家族全員で食事をする家庭も多くなったようですが。深谷 日本でも父親が威張っていて、お母さんはご主人と息子とは食事を一緒にしていなかったという時代もありました。しかし、「カカ座」という言葉もあるように、お母さんは一歩下がっているようにみえても、家の中では厳然として力を持っていた。韓国でもそうではないですか。

李 私はお母さんは家族の中で苦勞しているというイメージを持っています。

金 確かに韓国では、権力は父親にあり、母親は弱い存在のように見えますが、子どもからみれば、やはり身近に感じるのはお母さんですね。

深谷 そうしますと、今回のデータに出てきている、韓国の女子高校生の意識が変わってきているというのは、自分のお母さんと、できるならば違う生き方をしたいという気持ちなのではないでしょうか。

金 そうだと思います。

李 しかし、姉をみていると、母に比べると家庭の中での発言力はかなりあり、地位も高くなっているように思います。ですから、姉よりももっと若い世代は、そうした傾向がさらに強まっているのではないかと、そんな気がします。私の場合も、結婚して家庭をもったら、やはり同じ人間として夫と一緒に歩んでいきたいと思っています。

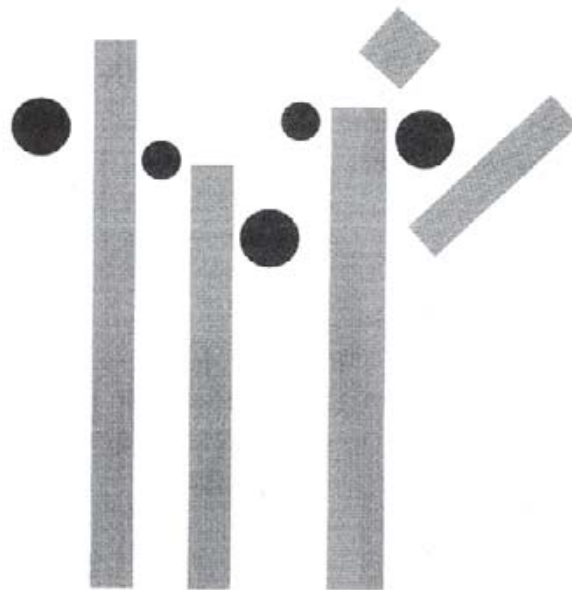
深谷 本日は長時間にわたってありがとうございました。

〔調査レポート〕

日韓高校生の大学受験

静岡大学教授

深谷昌志



要 約



① テレビ視聴時間

平均すると、韓国は42分、日本は1時間39分で、57分、日本の生徒のほうが長く視聴している（p.15 図1）。

② 勉強時間

韓国の生徒は平均2時間13分、日本は1時間6分で、1時間7分ほど、韓国の生徒のほうが長く勉強している（p.20 図7）。

③ 進路

大学進学を目指す高校を対象としたので、「むずかしい大学」志望者は日本27.3%、韓国28.4%である（p.30 表4）。

④ これから先の人生

日本の高校生と比べ、韓国の高校生のほうが将来に明るい見通しを抱いている。「経済的に豊かになる」見通しは、韓国82.2%、日本48.5%である（p.34 図19）。

⑤ 結婚

日本で「ぜったい恋愛結婚」をしたい者が46.5%であるのに、韓国は38.8%である（p.38 図22）。

⑥ 女性の生き方

結婚したら家庭に入ろうと思っている割合は、日本の19.8%、韓国5.2%（女子）と、日本の女子に家庭志向が強い（p.44 図27）。

⑦ 日本の高校生

日本の高校生自身は「テレビをのんびりと見ている」が15.8%に達するのに、韓国的高校生が日本の高校生にそう思っている割合は5.4%にすぎない（p. 54 図34、p. 55 図35）。

⑧ 韓国的高校生

韓国的高校生の35.6%は自分たちのことを「熱心に勉強している」と思っている。しかし、日本の高校生で、韓国的高校生にそう思っているのは24.6%にすぎない（p. 56 図36、p. 57 図37）。

〔全体として〕

日本も韓国も、ともに受験校を対象としたので、むずかしい大学を目指して、受験勉強を行っている。そうした中で、日本より韓国の生徒のほうが、テレビを見ずに勉強している時間が長い。そして、将来に大きな夢を抱いてがんばっている高校生という感じである。それに対し、日本の高校生のほうが、将来の社会的な達成に疑問を持ち、家庭志向の傾向が強まっている。

〔調査概要〕

対象●日本（東京・千葉・愛知の高校2年生
1,748人）
韓国（ソウル・大田の高校2年生1,710
人）

時期●日本（1992年7月）
韓国（1992年6月）

方法●学校通しによる質問紙調査

サンプル数

(人)

	男子	女子	計
日本	924	824	1,748
韓国	910	800	1,710
計	1,834	1,624	3,458

第 I 章 高校生の生活



1. テレビ視聴

高校生たちは、どういう生活を送っているのか。ふだんの生活を追ってみよう。

図1は、ふだんの日のテレビ視聴の長さを示している。韓国の高校生の34.6%、つまり3分の1は、テレビを見る時間は30分以内と答えている。そして、平均視聴時間は42分にすぎない。それに対し、日本の高校生のうち、2時間くらいテレビを見る者は23.1%、これに、それ以上視聴する者の28.9%を含めると、2時間以上視聴している生徒は52.0%と、半数を超える。

テレビ視聴が平均して42分と、1時間を下回る韓国と、1時間30分を超える日本。テレビ視聴の長さを見るだけでも、日韓の高校生

の受験をめぐる状況の違いが感じられる。それと同じような結果が、図2からも得られている。

韓国の高校生のうち、マンガの本をほとんど読まない生徒が46.0%を占める。しかし、日本の高校生の半数以上は、「たまに」にしても、マンガを手に入れている。そして図3によれば、日本の生徒たちの中で、女子より男子のほうが、マンガに接している時間が多い。

もちろん、高校生をとりまくものはテレビに限らない。とくに若者の間では、テレビよりラジオや音楽の人気が高い。そこでラジオの接し方を尋ねると、図4のように、韓国のほうがラジオをきいている割合が高い。テレ

ビは手を休めて見なければならないが、ラジオだとききながら勉強ができる。そうした違いが、ソウルの高校生たちのラジオ聴取となったのであろう。

そうはいつでも、図5のように、音楽を毎

日のようにきく割合は、日本の60.7%に対し韓国は34.8%と、半分にとどまっている。

こう見てくると、同じ受験生といっても、韓国の高校生のほうが、日本よりも禁欲的な生活を送っているのがわかる。

図1 テレビを見る時間（日韓）

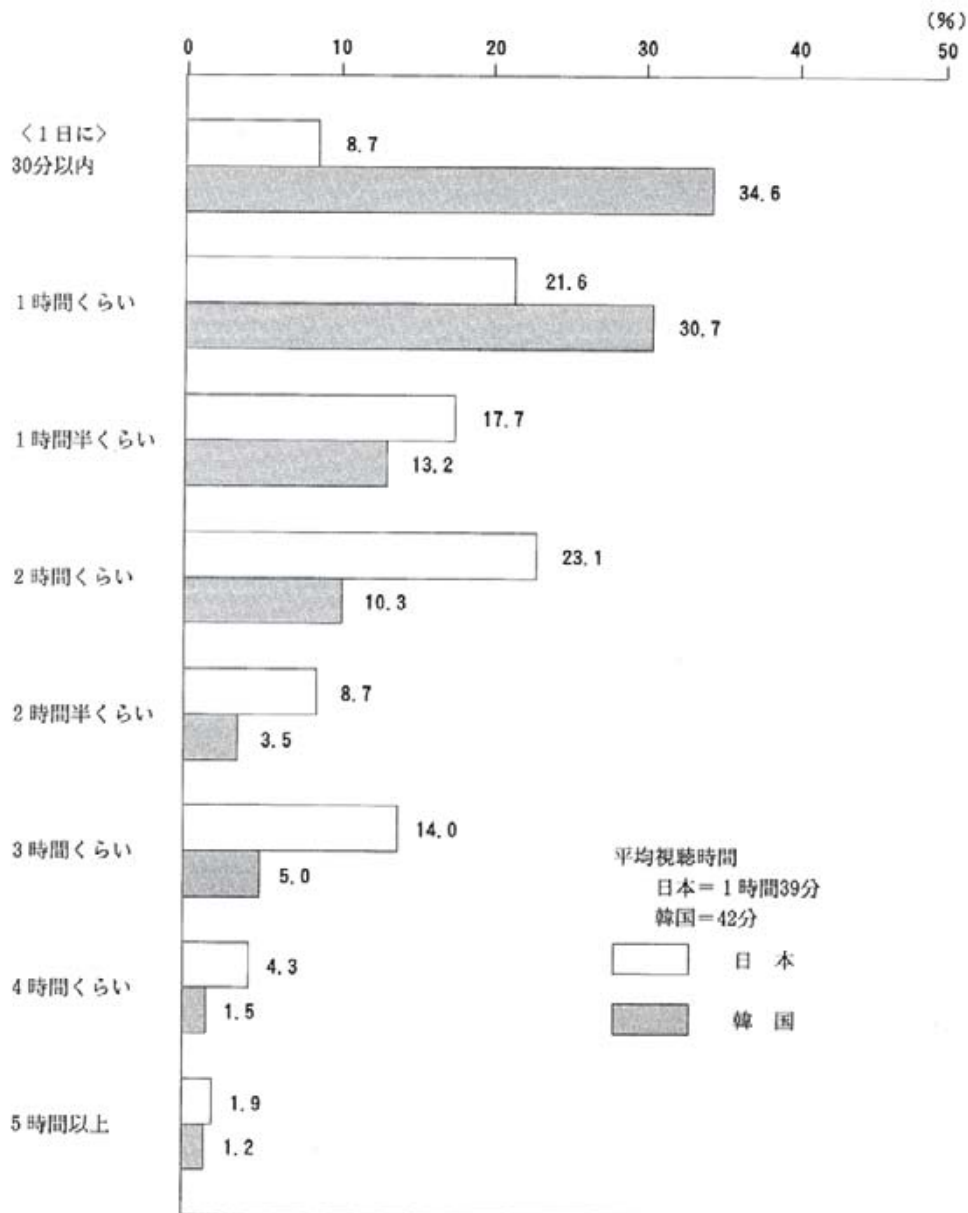


図2 マンガ単行本を読む（日韓）

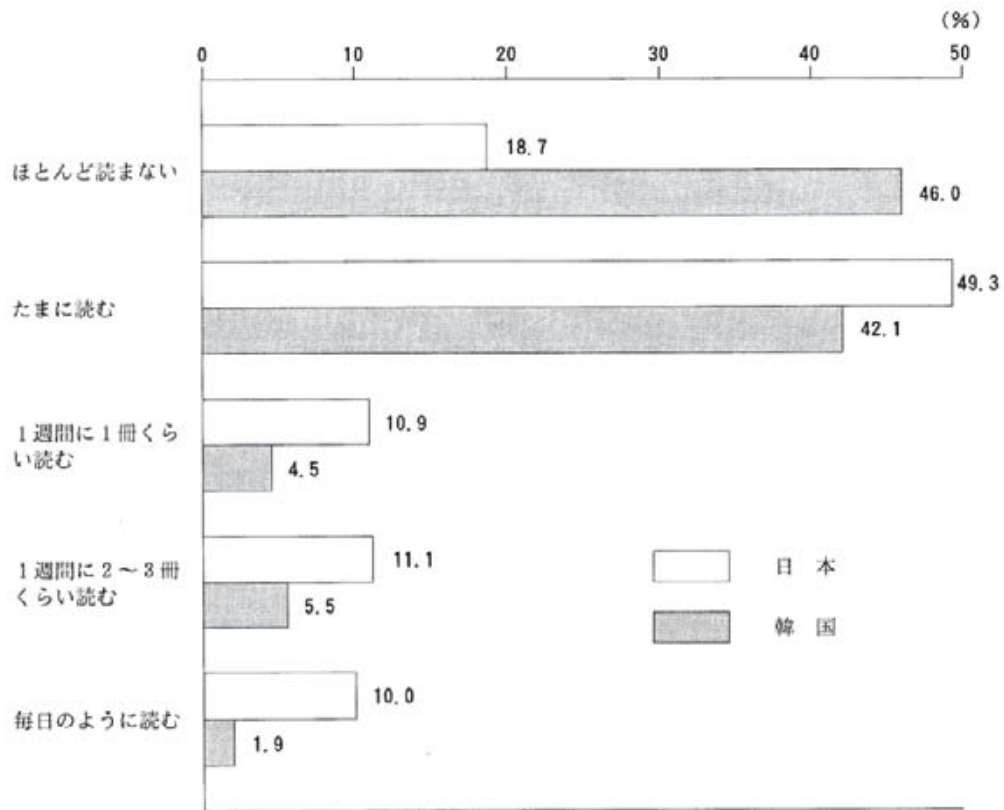


図3 マンガ雑誌を読む（日本）

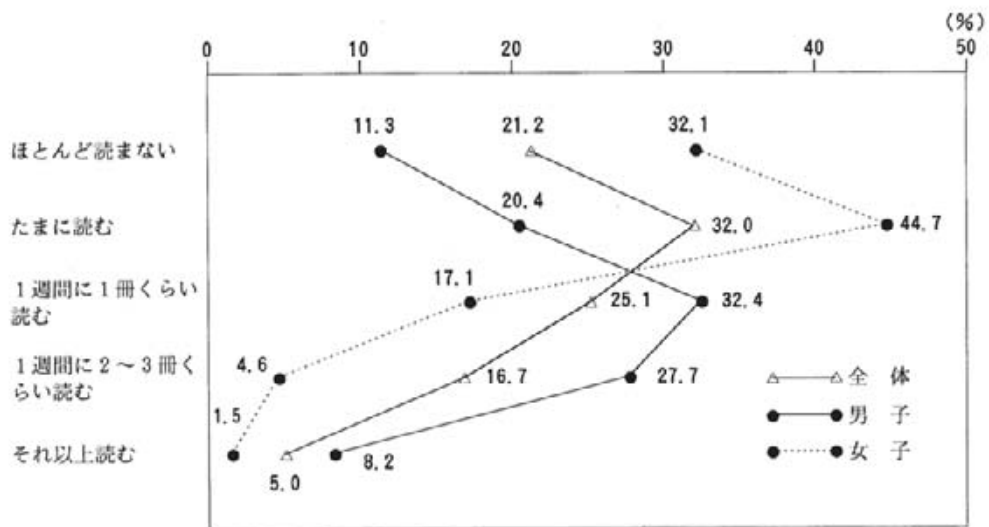


図4 ラジオをきく（日韓）

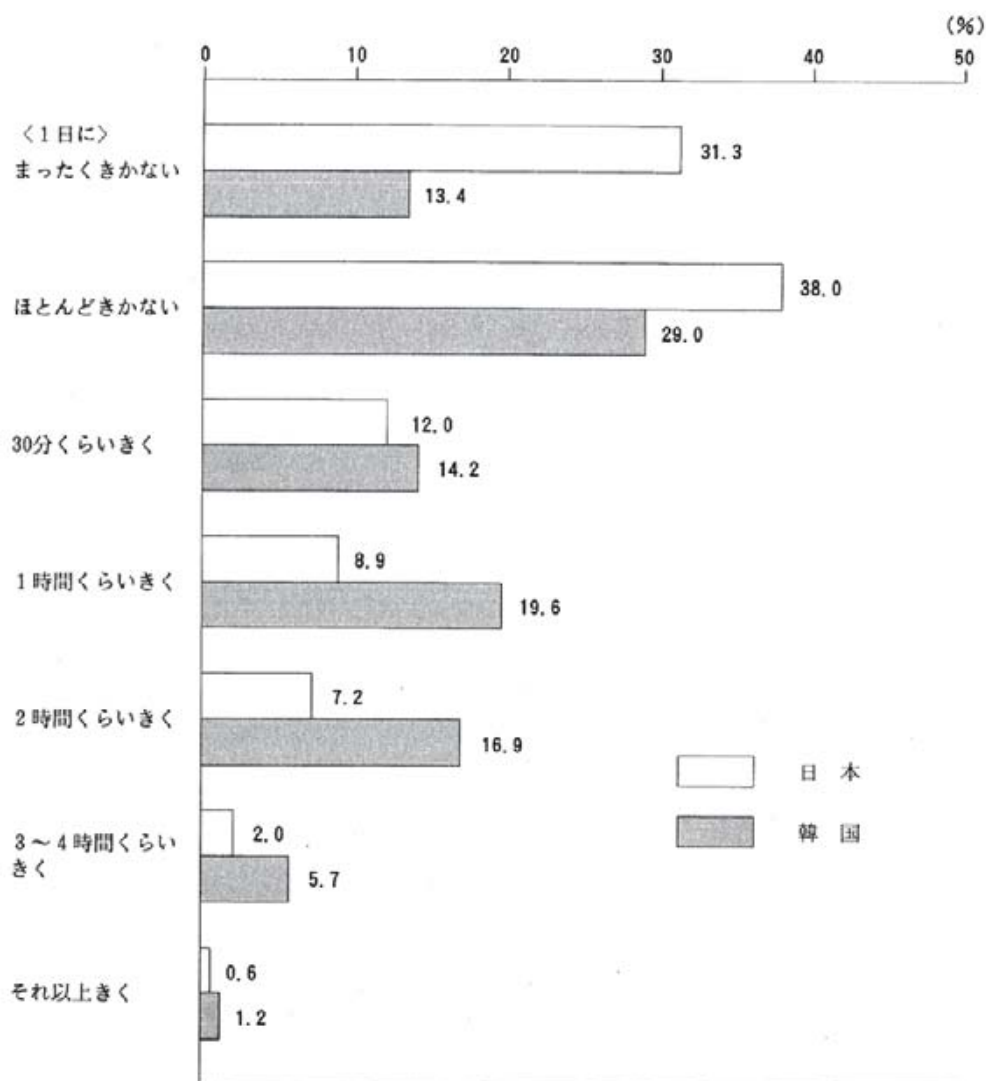
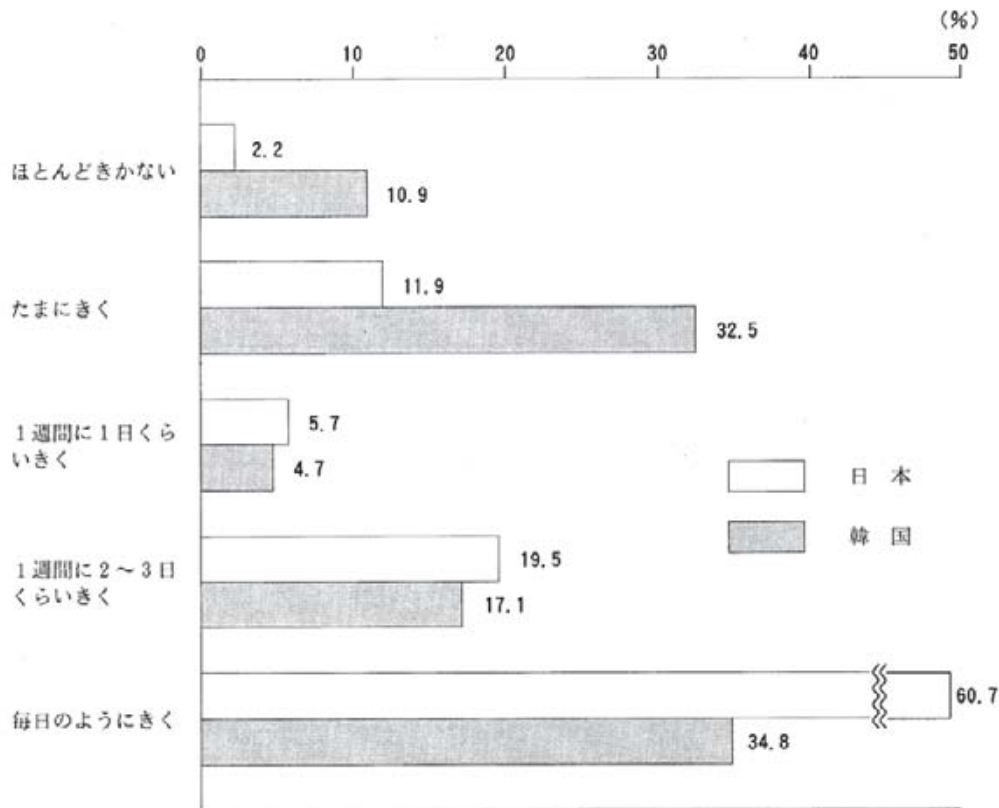


図5 CD・音楽のテープをきく（日韓）



2. 勉強時間

それでは、読書などはどうか。図6によれば、テレビやマンガと異なり、韓国の高校生も日本の高校生と同じくらいに本を読んでいるように見える。

それでは、家庭での勉強時間はどうなっているか。日本の高校生は学校のほかに予備校へ行っている者が少なくないし、韓国の高校生は、冒頭の座談会でふれたように学校で夜遅くまで勉強をしているし、読書室もある。したがって、家庭での学習時間に、こうした通塾の時間を含めるかどうかで、数値が異なっよう。

図7によると、2時間半以上勉強をしている生徒は、日本だと8.8%にとどまっているのに、韓国では37.6%と3分の1を超える。

したがって平均勉強時間をもても、韓国の高校生のほうが、日本の1時間6分よりも1時間7分長い2時間13分に達している。そして図8のように、韓国の高校生の中には、5時間以上も勉強をしている生徒が4.3%もいる。

このように、韓国の高校生は日本の高校生以上に夜遅くまでがんばって勉強している。それだけに日韓の高校生の「勉強しながらすること」についても、全体として韓国の高校生は勉強に熱中しているが、それでも家族としゃべっている時間は、それなりに多くもっているように見える(図9)。

また図10によると、自分でしていることについても、日本の高校生より韓国の高校生のほうがしている割合が少ない。この点も、韓

国の高校生のほうが、それだけ勉強に集中しているのであろうか。

なお、自分の部屋の掃除についての結果を表1に示した。家庭の状況が日韓で異なるので何とも言いにくいですが、少なくとも韓国の高校生の半数以上は、自分で部屋をかたづけず

に、親まかせの生活を送っている。これも子どもが部屋をかたづける時間があったら、勉強をしたほうがいと親たちが思うからであろうか。それだけ、韓国の受験勉強がきびしいのかもしれない。

図6 本を読む（日韓）

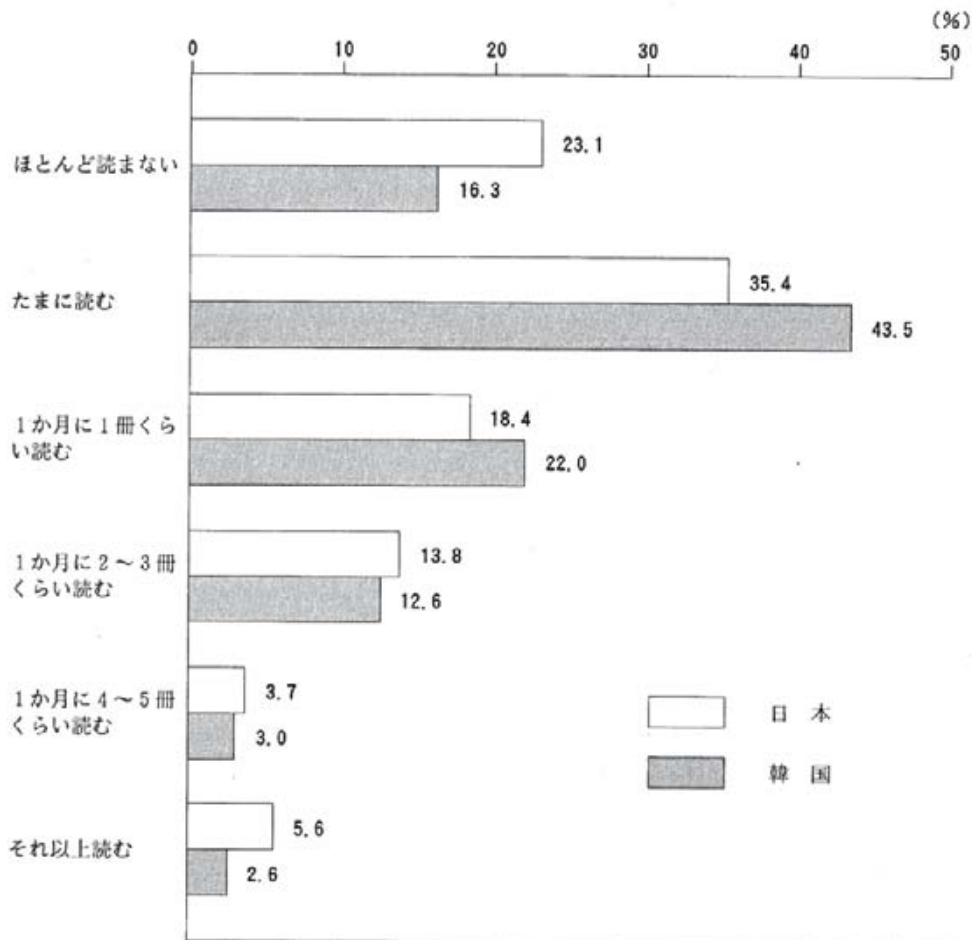


図7 家での勉強（日韓）

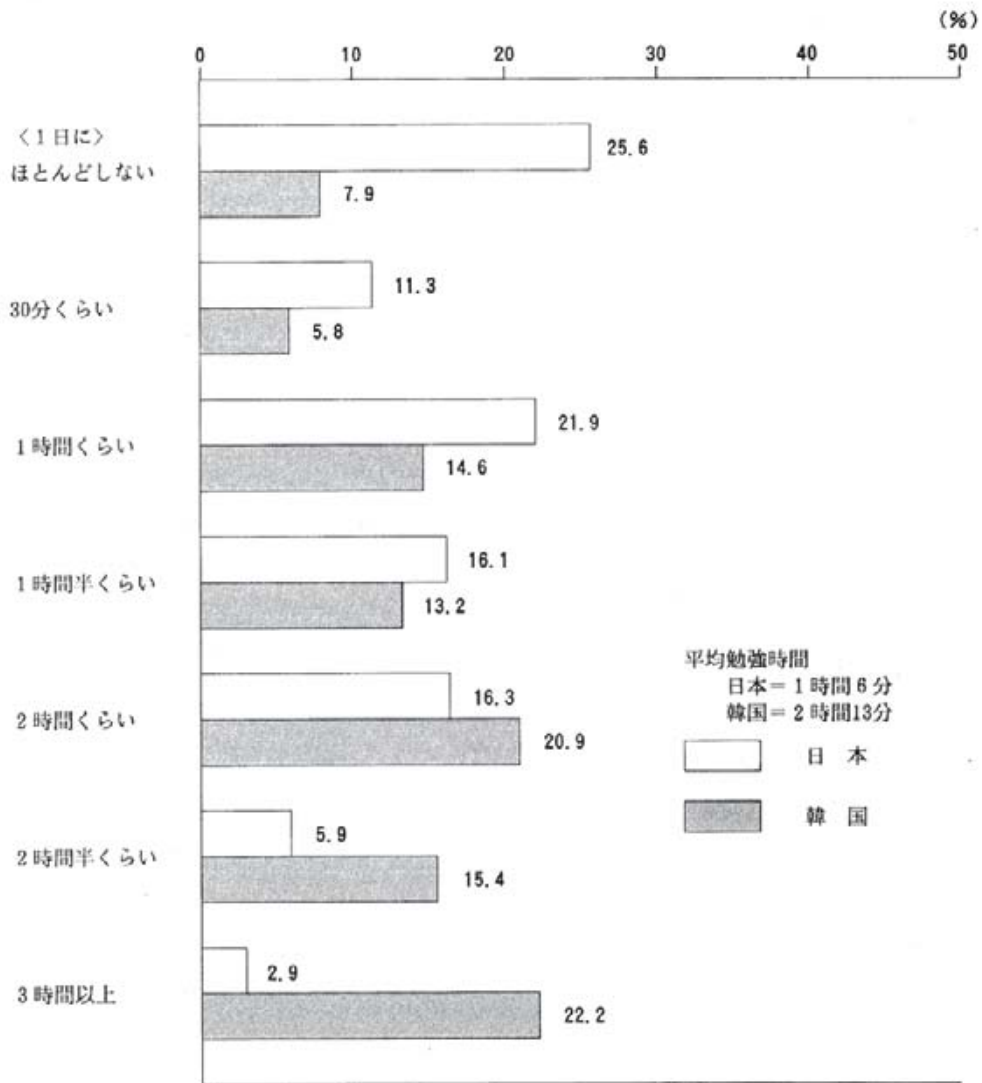


図8 1日の平均勉強時間（韓国）

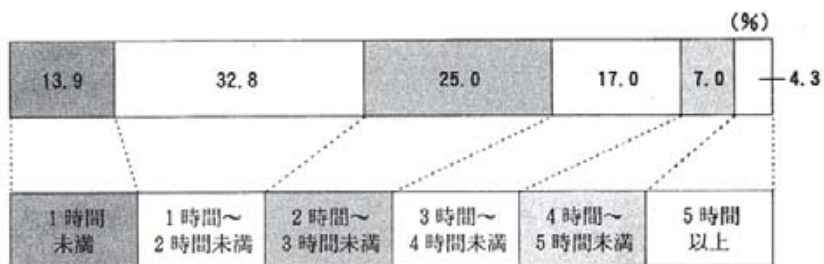


図9 勉強しながらすること（日韓）

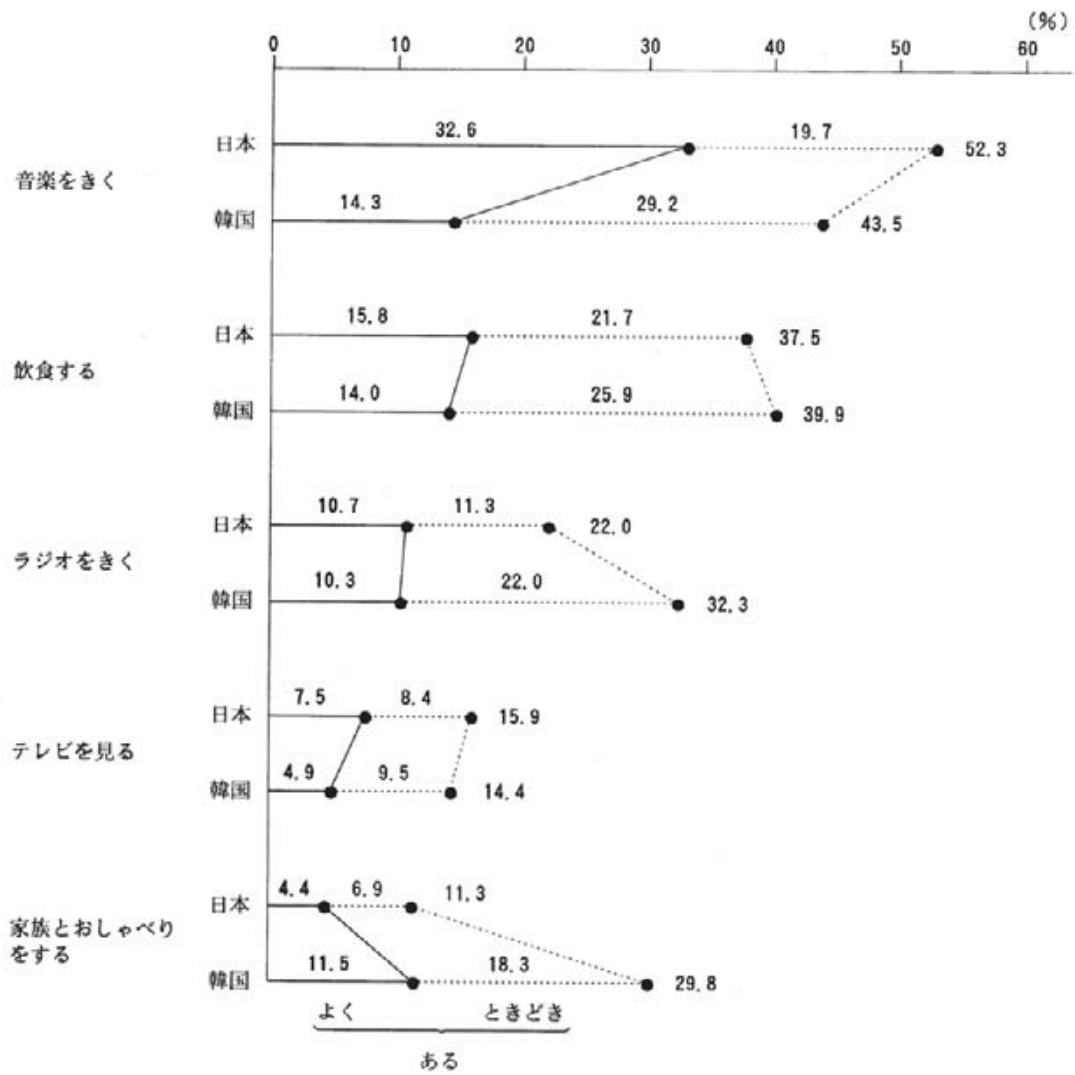


図10 自分でやっていること（日韓）

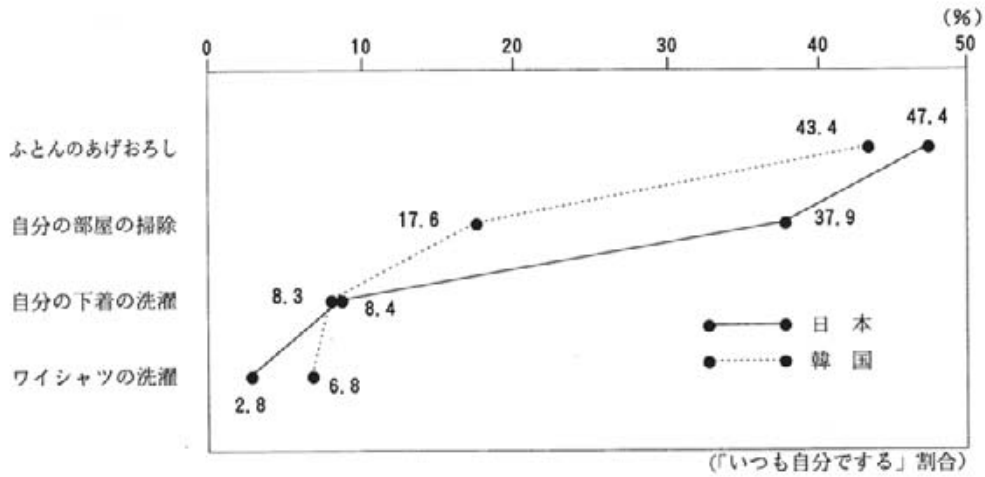


表1 自分の部屋の掃除（日韓）

		いつも自分で	自分でやる ことが多い	半々	親まかせに することが多い	いつも 親まかせ
日本	男子	33.0	22.8	20.5	15.7	8.0
	女子	43.6	20.3	18.7	12.9	4.5
	全体	37.9	21.6	19.7	14.4	6.4
韓国	男子	14.3	23.3	22.8	31.8	7.8
	女子	21.3	21.6	17.0	34.7	5.4
	全体	17.6	22.5	20.1	33.1	6.7

第Ⅱ章 大学進学を目指して



1. 高校生活

それでは、高校生は学校でどういう気持ちで毎日を送っているのでしょうか。日本の高校生の生活は図11の通りで、「とても」に「わりと」を加えると、上位3位までは以下の通りである。

とても + わりと = 小計
 そう思う + そう思う

- ① 休み時間が楽しみ 33.9% + 31.3% = 65.2%
- ② 昼食が楽しい 32.2% + 31.1% = 63.3%
- ③ 遅刻はしない 38.8% + 21.0% = 59.8%

さらに、下位の3項目は以下の通りである。

- ① 先言をよくする 2.3% + 3.9% = 6.2%
- ② 勉強は得意 1.9% + 6.1% = 8.0%
- ③ 授業はまじめにとりくむ 7.2% + 26.4% = 33.6%

したがって、日本の高校生にとっては、勉強は得意とはいえないし、授業にそれほどまじめにとりくんでいないが、昼食の時と、休み時間が楽しみというのが、高校生活についての気持ちだという。

それでは、韓国の高校生にとって、高校生活はどのような意味をもっているのか(図12)。

〈上位3項目〉

とても + わりと = 小計
 そう思う + そう思う

- ① 遅刻はしない 57.0% + 23.7% = 80.7%
- ② 昼食が楽しい 40.0% + 38.4% = 78.3%
- ③ 提出物は期限までにやる 26.2% + 45.0% = 71.2%

〈下位3項目〉

①発言をよくする 4.3%+13.8%=18.1%

②勉強は得意 2.4%+16.9%=19.3%

③学校へ行くのが

楽しみ 6.4%+39.1%=45.5%

こう見てくると、韓国の高校生にとっても学校の意味は、日本とそれほど変わっていないように思える。

いように思える。

そこで、韓国と日本の反応を1つにまとめると、図13のようなプロフィールとなる。日本に比べ、韓国の高校生のほうが、「昼食が楽しい」や「テスト勉強はがんばる」「授業はまじめにとりくむ」などの多くの面で、数値が高くなっている。

図11 学校生活（日本）

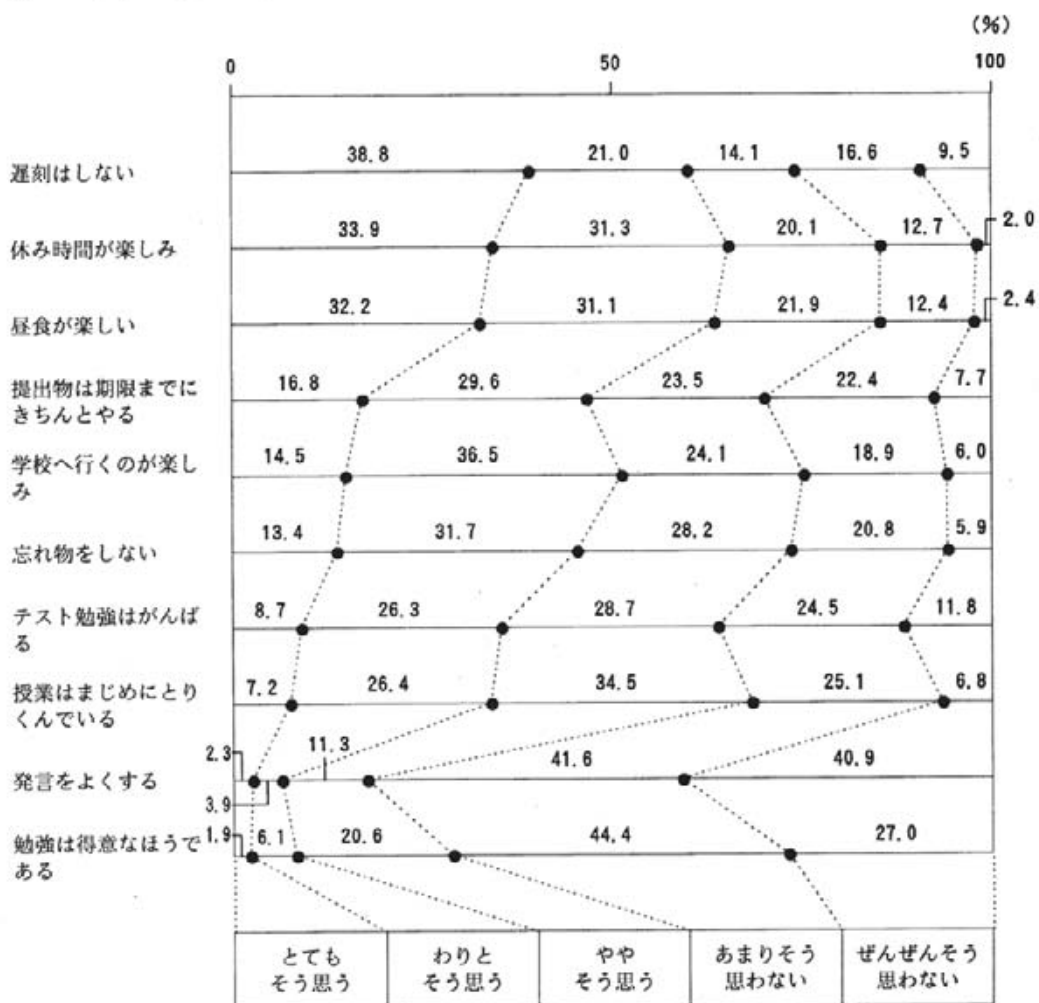


図12 学校生活（韓国）

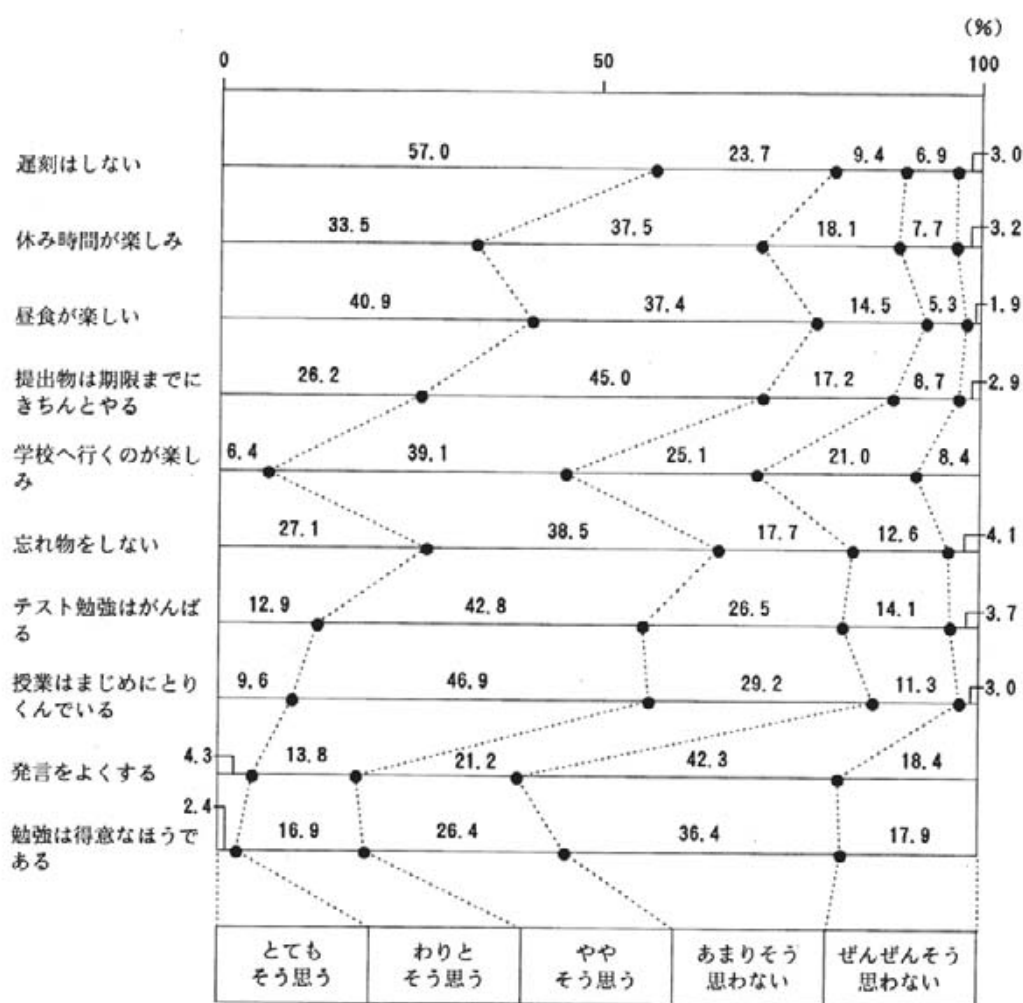
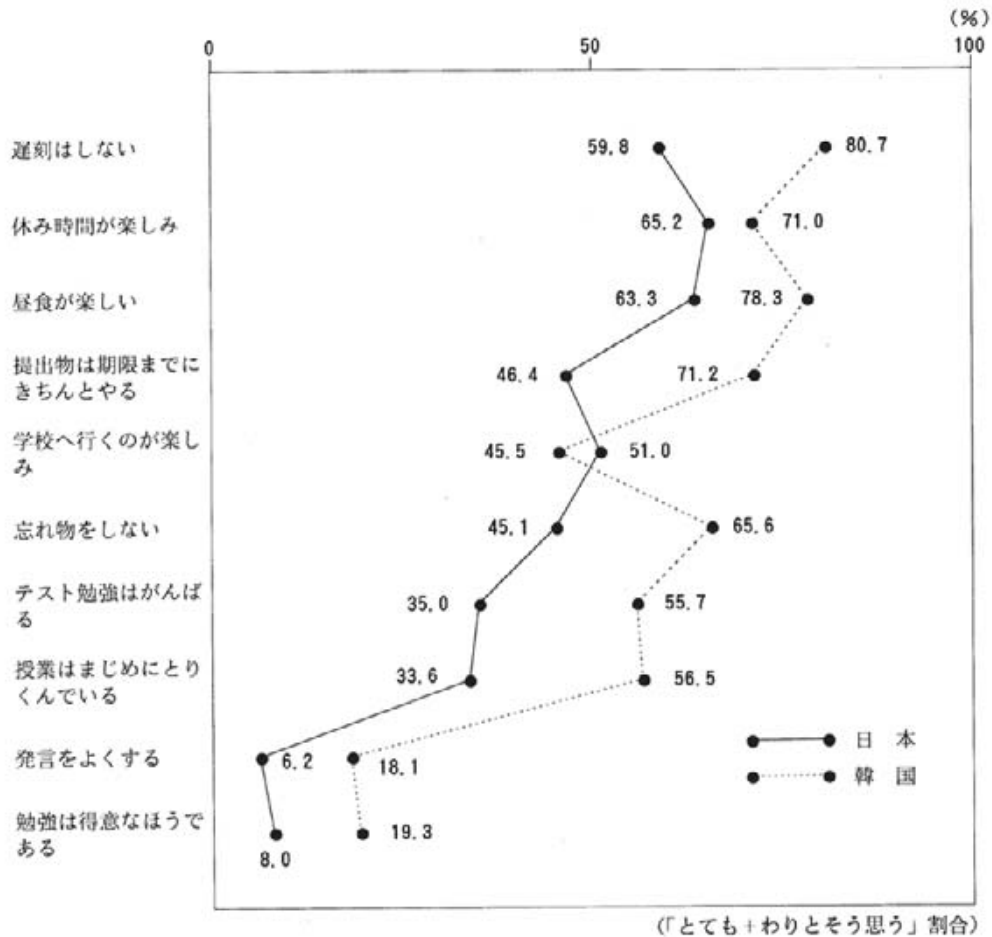


図13 学校生活（日韓）



2. 学業成績

それでは、高校生たちの学業成績はどうなっているのか。すでにふれたように、今回のサンプルは、日韓ともに大学受験を目指す進学校なので、表2や表3、図14のような結果となる。

冒頭の座談会でふれたように、韓国ではかなり厳密な小学区制がとられているが、日本

の高校生に比べ、韓国の生徒は小中学生の頃、成績に自信があった。しかし高校生になって進学校に入り、勉強の得意な仲間たちがふえて、勉強を得意と答える生徒が少なくなる。勉強に自信を持ちにくい。それだけ韓国の受験事情はきびしいのかもしれない。

なお、進路については表4の通りで、日韓

表2 成績の変化（日本）

		(%)					
		とても得意	かなり得意	やや得意	やや苦手	かなり苦手	とても苦手
国語	小学2～3年	25.6	16.4	32.5	15.2	4.6	5.7
	小学5～6年	24.2	20.5	31.2	16.0	3.3	4.8
	中学1年生頃	18.6	20.1	32.9	18.2	5.2	5.0
	中学3年生頃	18.1	21.8	29.7	19.0	6.1	5.3
	現在	4.3	8.8	36.3	29.6	11.5	9.5
数学	小学2～3年	23.3	17.0	26.1	19.3	5.9	8.4
	小学5～6年	20.9	18.8	25.2	20.5	7.7	6.9
	中学1年生頃	18.2	17.7	23.5	22.3	10.6	7.7
	中学3年生頃	16.9	16.7	21.1	23.6	12.7	9.0
	現在	4.2	7.2	21.1	21.1	20.5	25.9
英語	中学1年生頃	29.9	17.7	20.8	17.7	6.5	7.4
	中学3年生頃	22.0	21.6	27.1	17.0	6.9	5.4
	現在	5.7	6.4	26.7	28.6	16.0	16.6

ともに、ほぼ9割が大学進学を考え、その中でも、むずかしい大学を目指す生徒が3割弱に迫っている。

したがって、日韓ともに大学、中でもむずかしい大学を目指しているのが、本サンプルの平均的な姿となる。

もちろん、韓国でむずかしい大学といえば、

ソウル、高麗、延世の3大学に限られているが、それに対し日本だと、東大に早慶、そして上智、さらに京大、同志社など、むずかしい大学の数が多いように思う。

そして日本の生徒たちは、がんばっても、むずかしい大学へ入るのはかなり無理と思っている(図15)。しかし図16によれば、韓国

表3 成績の変化(韓国)

(%)

		とても得意	かなり得意	やや得意	やや苦手	かなり苦手	とても苦手
国語	小学2～3年	41.3	29.5	18.5	6.0	2.5	2.2
	小学5～6年	30.1	36.6	23.9	6.4	1.8	1.2
	中学1年生頃	16.5	36.3	33.2	10.7	2.2	1.1
	中学3年生頃	13.0	34.1	37.7	11.8	2.5	0.9
	現在	2.1	10.7	30.6	33.3	16.0	7.3
数学	小学2～3年	47.2	25.5	14.9	7.7	2.8	1.9
	小学5～6年	31.3	29.7	23.0	11.4	3.2	1.4
	中学1年生頃	21.6	28.4	25.2	18.0	5.2	1.6
	中学3年生頃	20.2	26.4	25.7	18.4	6.8	2.5
	現在	1.6	7.3	21.3	27.0	27.8	15.0
英語	中学1年生頃	37.9	23.1	21.5	11.9	4.0	1.6
	中学3年生頃	18.0	28.5	25.7	18.3	7.2	2.3
	現在	2.2	8.0	19.4	27.9	26.8	15.7

の高校生は、ねばればなんとかなると考えている者が少なくない。

- | | 日本 | 韓国 |
|-----------|-------|---------|
| ・このままだと | 3.1% | < 6.5% |
| ・一生懸命やったら | 33.9% | < 62.2% |
| ・一浪したら | 41.5% | < 56.4% |
- （「なんとか」+「きっと」入れる割合）

つまり、韓国の高校生たちは、がんばればソウル大学へ入学できそうだと信じている。むずかしい大学とそうでない大学との格差が大きい韓国だけに、なんとかしてトップランクの大学へ入りたいという気持ちが強いのであろう。

図14 数学の成績の変化（日韓）

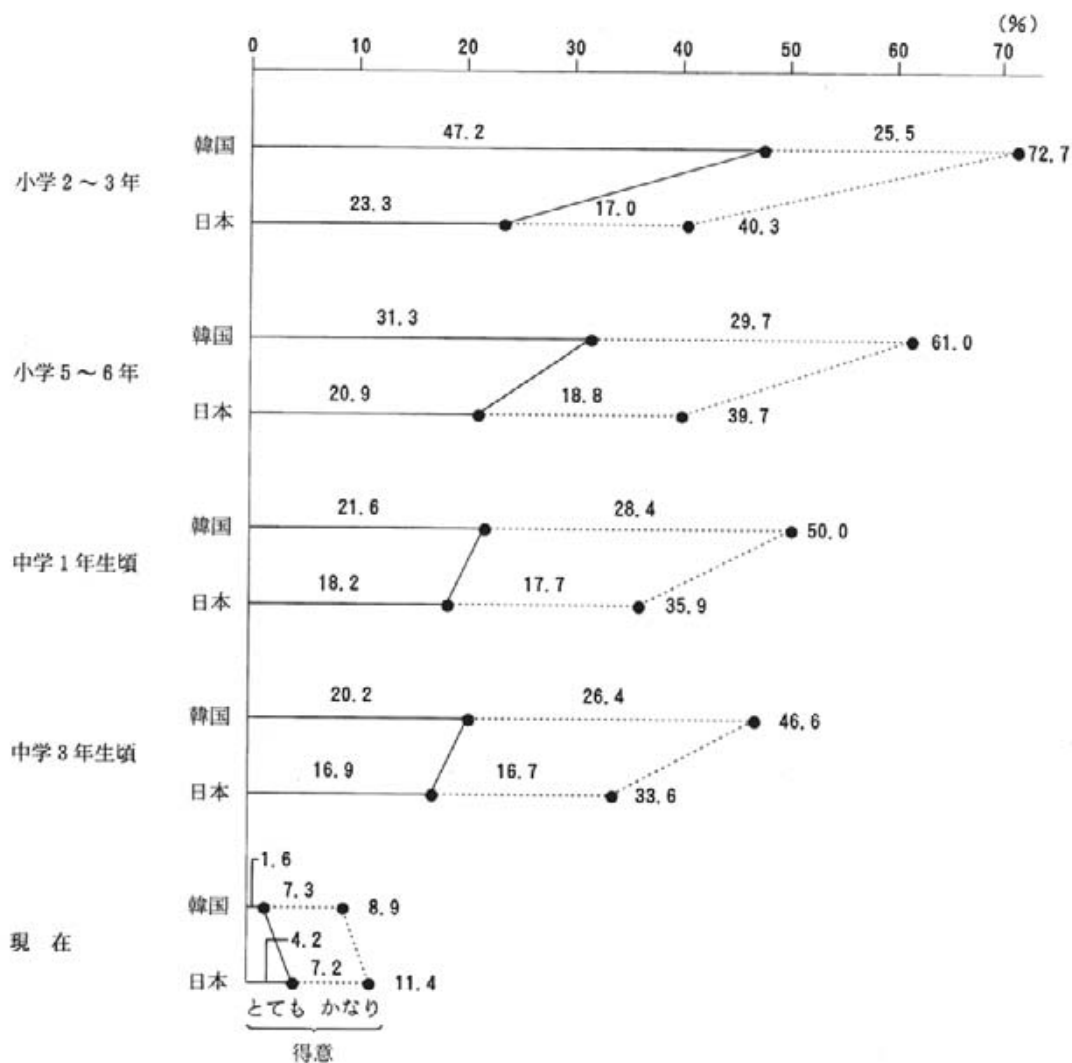


表4 進路（日韓）

(%)

	日 本	韓 国
むずかしい大学	27.3	28.4
まあまあの大学	60.2	61.5
短 大	5.2	7.5
専修・専門学校	5.7	2.6
就 職	1.6	—

図15 むずかしい大学受験（日本）

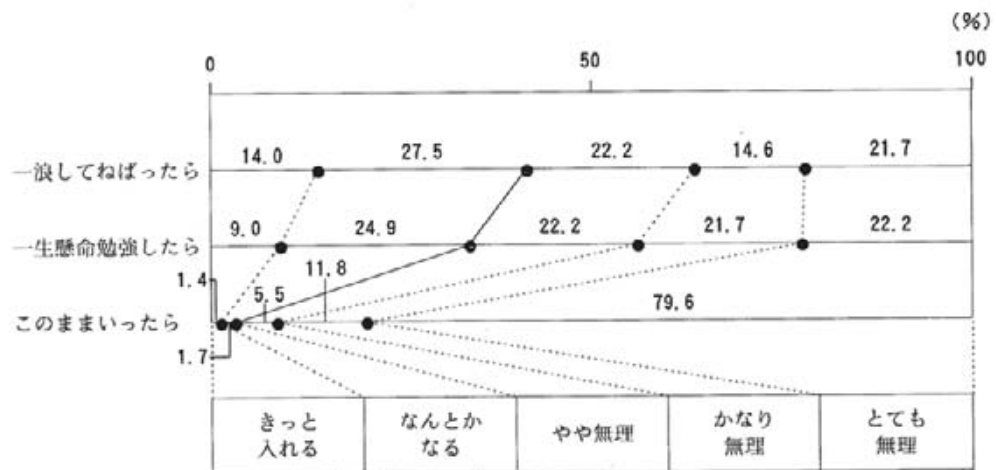
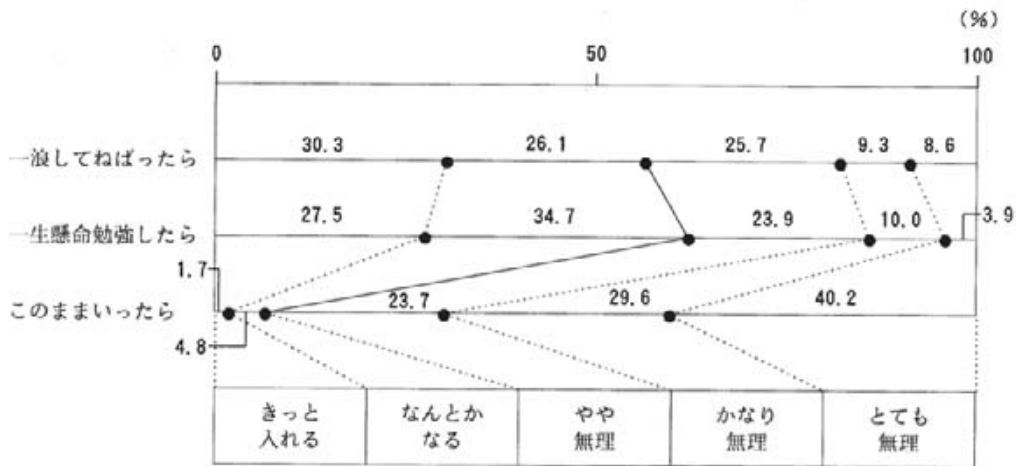


図16 むずかしい大学受験（韓国）



3. 将来への見通し

それでは、大学はむろん、むずかしい大学に入れそうという、いわば、エリート候補層の生徒たちは将来について、どういう見通しを抱いているのだろうか。

図17に、日本の高校生の見通しを示した。

〈可能性が大きい〉

$$\begin{array}{l} \text{たぶん} \\ \text{可能} \end{array} + \begin{array}{l} \text{きっと} \\ \text{可能} \end{array} = \text{小計}$$

①しあわせな家

庭をつくる 49.8% + 25.9% = 75.7%

②よい親になる 45.2% + 22.5% = 67.7%

〈可能性が小さい〉

①一流大学への

入学 12.0% + 3.0% = 15.0%

②大企業への就職 14.5% + 3.3% = 17.8%

したがって、大企業に入って、社会的に活躍するのはむずかしいかもしれないが、よい家庭はつくれそうというのが、日本の高校生の将来像となる。

そして、韓国の高校生の反応は、図18の通

りである。

〈可能性が大きい〉

$$\begin{array}{l} \text{たぶん} \\ \text{可能} \end{array} + \begin{array}{l} \text{きっと} \\ \text{可能} \end{array} = \text{小計}$$

①しあわせな家

庭をつくる 34.4% + 56.4% = 90.8%

②よい親になる 34.1% + 52.6% = 86.7%

〈可能性が小さい〉

①一流大学への

入学 17.2% + 6.0% = 23.2%

②大企業への就職 26.1% + 7.4% = 33.5%

それぞれの項目は、日本とそれほど変わっていないけれど、韓国の高校生のほうが、将来に自信をもっているのがわかる。

そこで、図17と図18とを、「きっと」「たぶん」可能に注目して加算してみると、図19のような結果となる。全体として、韓国の生徒たちが未来に自信をもっているのがわかる。

そして、いくつかの職種について、そうした仕事につけるかどうかをたしかめると、図

20のように、日本の高校生は大きな仕事につけないと思っている。それに対し、図21のように韓国の高校生が、無理かもしれないがなんとかかなると思っている割合が多い。

そうした中で、両者の開きの大きな職種を拾い出すと以下の項目となる。

	韓国	日本
・コンピューターの技師	53.5%	16.6%
・新聞記者	47.0%	17.0%
・大会社の社長	33.1%	9.0%
・大学教授	31.6%	6.7%

(「たぶん」+「きっと」なれる割合)

図17 これから先の人生 (日本)

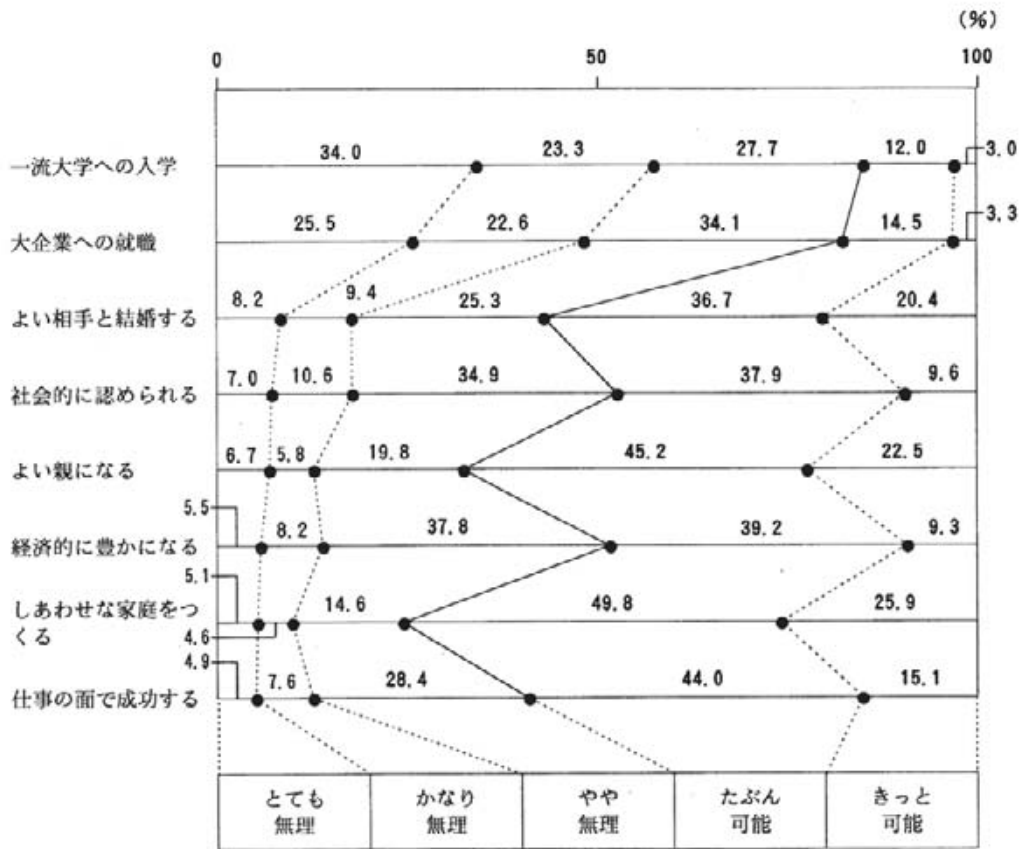


図18 これからの人生（韓国）

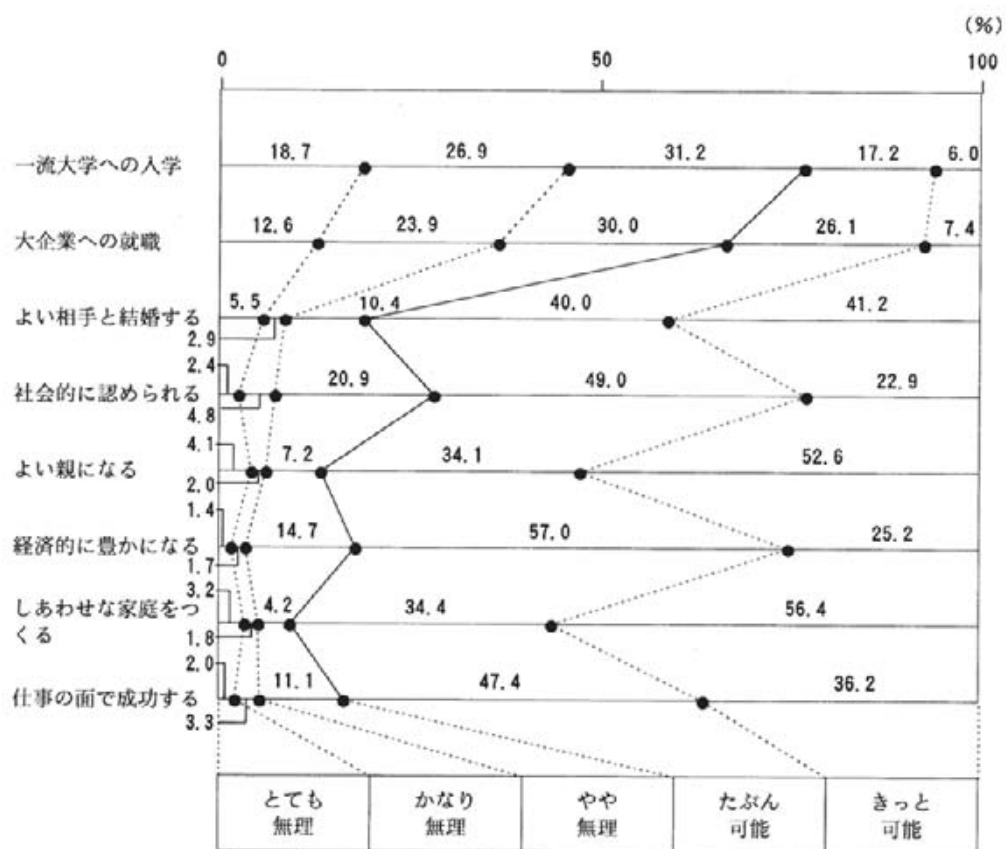


図19 これから先の人生（日韓）

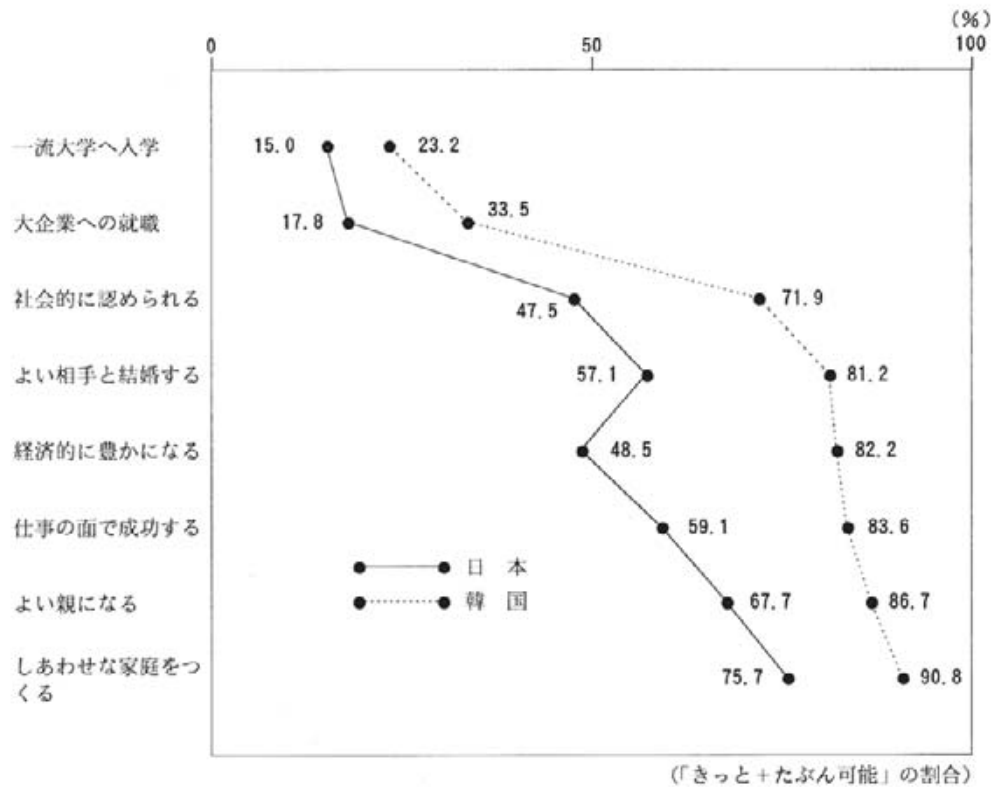


図20 次の仕事につけるか（日本）

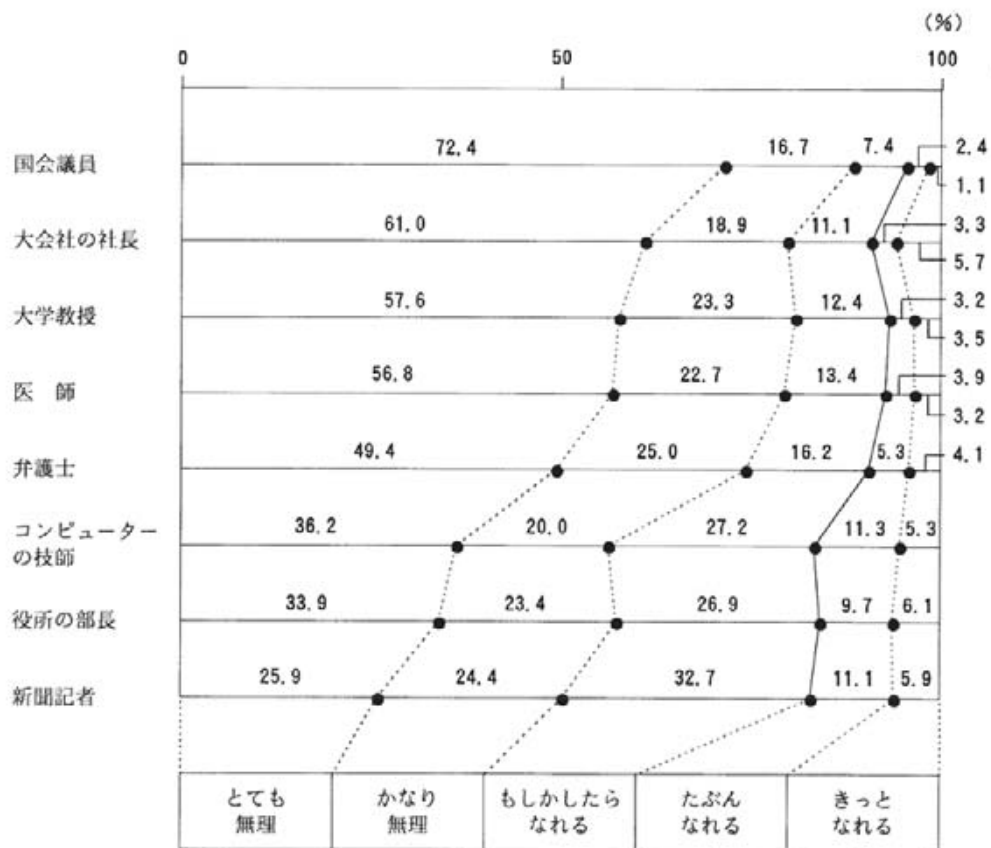
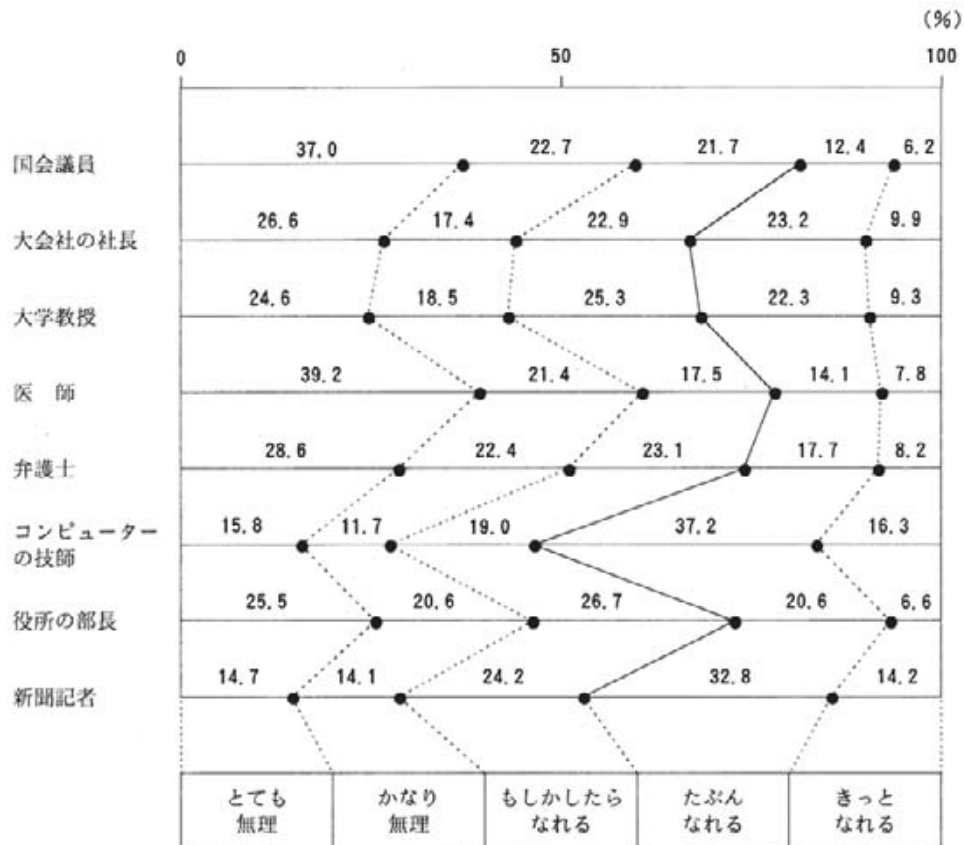


図21 次の仕事につけるか（韓国）



第Ⅲ章 将来の家庭生活



1. 結婚の型

これまでのように、韓国の高校生は日本の高校生より、将来に明るい見通しをもって、むずかしい大学への進学を目指していた。

それならば、家庭生活についての見通しはどうか。結婚相手の条件として、表5のように、日韓ともに、やさしく、体の丈夫な相手を望んでいるのがわかる。

そして、現代の高校生らしく、結婚の形として恋愛結婚を求めているのは日韓ともに共通している(図22)。表6の結果では、日本では男子よりも女子のほうが恋愛結婚を望んでいるが、韓国では結婚しないと答えている女子が20%に達する。

韓国は長い間、儒教的な敬老精神が家庭を

支配していた。そして、ここ十年来、韓国の家庭は変わり、女性の力が伸びているといわれる。しかし、それでも韓国の女性たちの間では、結婚をしないと答える者が少なくない。

それでは、結婚相手の年齢はどうなっているのか。表7でははっきりとしないので、男女別の集計を行うと、表8となる。韓国は男子が1~2歳年下の妻、女子は3~5歳年上の夫を望んでいる。それに対し、日本の男子は同じ年、女子は1~2歳年上の相手がいいと答えている。

日本の高校生は年齢差の少ない夫婦を考えているのに対し、韓国では何歳か年齢の離れた夫婦をイメージにおいている。

表5 結婚の条件…3つ(日韓)

(%)

	日本	韓国
やさしい	81.5	52.9
体が丈夫	54.6	47.0
家事が好き	30.7	17.5
ルックスがよい	26.6	47.3
やる気がある	25.8	33.5
収入が多い	24.7	15.2
頭がよい	21.9	33.3
スポーツが得意	13.2	7.3
センスがよい	12.2	40.3
会社の上役から信頼されている	8.8	5.7

図22 結婚(日韓)

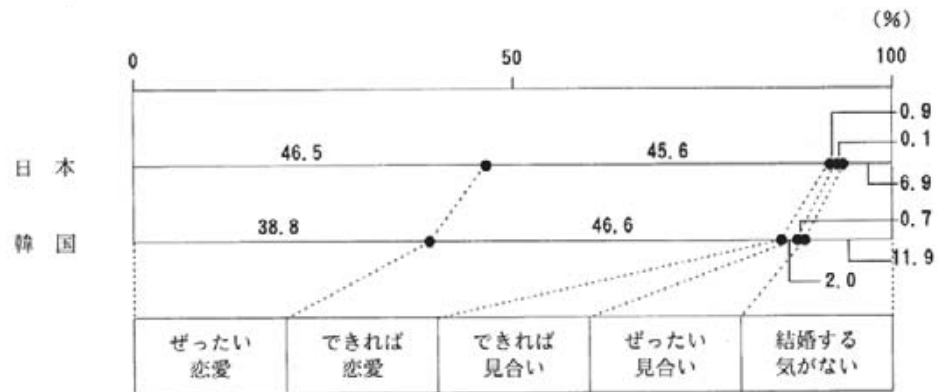


表6 結婚（日韓）

(%)

		ぜったい 恋愛	できれば 恋愛	できれば 見合い	ぜったい 見合い	結婚する 気がない
日 本	男 子	41.7	51.0	0.7	0.1	6.5
	女 子	51.8	39.6	1.2	0.1	7.3
韓 国	男 子	44.2	48.9	1.4	0.9	4.6
	女 子	32.8	43.9	2.6	0.5	20.2

表7 結婚相手の年齢（日韓）

(%)

	日 本	韓 国
ずっと年下	0.7	1.4
3～5歳年下	2.2	12.5
1～2歳年下	20.2	24.4
同 年	33.6	16.9
1～2歳年上	24.2	15.2
3～5歳年上	11.1	18.5
ずっと年上	2.0	2.6
結婚する気がない	6.0	8.5

表8 結婚相手の年齢差（日韓）

(%)

		年 下			同 年	年 上			結婚する 気がない
		ずっと	3～5歳	1～2歳		1～2歳	3～5歳	ずっと	
韓 国	男 子	2.3	23.1	45.3	18.7	5.1	1.4	0.7	3.4
	女 子	0.3	0.5	0.8	14.8	26.6	37.9	4.9	14.2
日 本	男 子	1.0	3.8	37.7	43.3	7.4	1.1	0.1	5.6
	女 子	0.5	0.5	1.1	23.1	42.4	21.9	4.1	6.4

○ は最大値

2. 結婚生活

恋愛したからといって、結婚できるわけではない。当然、結婚式が行われるが、その費用について図23のような結果が得られている。日韓ともに、親にある程度の額を頼むつもりなのは、図の示す通りである。

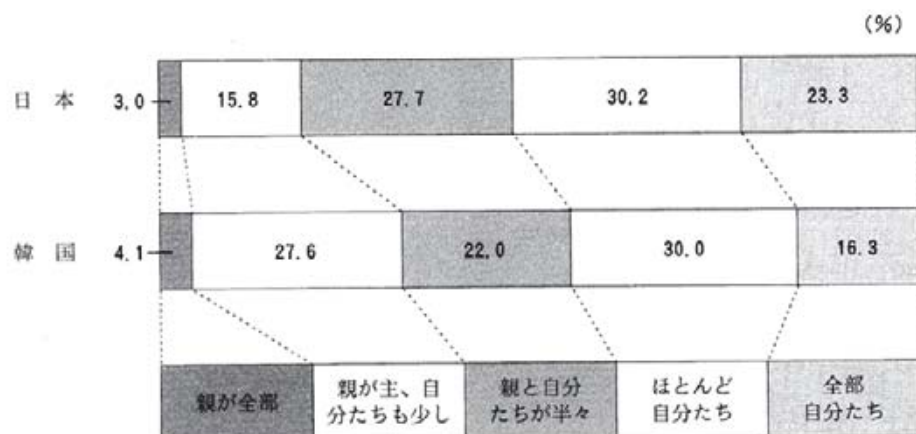
結婚した後の生活費は、日本の場合、25.8万円を予想している。住宅費を考えると、それでは無理という気もするが、おおむね妥当

な金額であろう（表9）。

そして、韓国の生徒たちは1か月の生活費を63.5万ウォンと答えている（表10）。ウォンを4あるいは5で割ると日本円に近づくので、4だと15.9万円、5だと12.7万円くらいになる。

日韓の物価の開きを考えると、おおむね妥当な数値で、日韓ともに具体的に結婚生活を

図23 結婚式の費用（日韓）



考えている証なのであろう。

それでは、結婚後の生活はどうなるのか。図24は、結婚後の家事分担についての日本の高校生のデータである。基本的に「妻がする」と答えている項目が多い。日本でもここ十年来、家庭内の役割に変化が認められるといわれる。しかし図24によると、それでも家事は女性の役割と考えている高校生が多いように思う。

それに対し韓国の高校生たちは、図25のように、夫と妻とが同じくらい、あるいは、時によっては夫のほうがたくさんやること

あってもよいと考えている。

そこで、朝食作りに例をとって、日韓の比較を試みてみると、図26のように、日本では男子の42.9%は「朝食は全部、妻が作る」と思い、女子の44.6%と、男子とほぼ同じ割合の生徒が「朝食を作るつもり」と答えている。

それ対し韓国では、男子の17.1%が妻に作ってほしいと思っているが、女子の51.7%は夫と妻とが同じくらいに朝食を作るべきだという。韓国の女子のほうが日本の女子より性差の少ない家庭を望んでいる割合が大きいように見える。

表9 1か月の生活費（日本）

	(%)		
	全 体	男 子	女 子
10万円以下	4.1	4.6	3.0
11～15万円	10.5	12.5	8.5
16～20万円	23.4	26.6	19.6
21～25万円	10.6	10.6	10.7
26～30万円	26.6	24.6	28.4
31～40万円	11.1	9.6	14.0
41万円以上	13.7	11.5	15.8

平均 25.8万円

表10 1か月の生活費（韓国）

	(%)		
	全 体	男 子	女 子
30万ウォン以下	10.6	13.2	7.4
～50万ウォン	25.4	28.9	21.7
～70万ウォン	20.8	19.6	22.2
～100万ウォン	29.1	26.9	32.7
～150万ウォン	7.4	6.4	8.1
160万ウォン以上	6.7	5.0	7.9

平均 63.5万ウォン

図24 家事分担（日本）

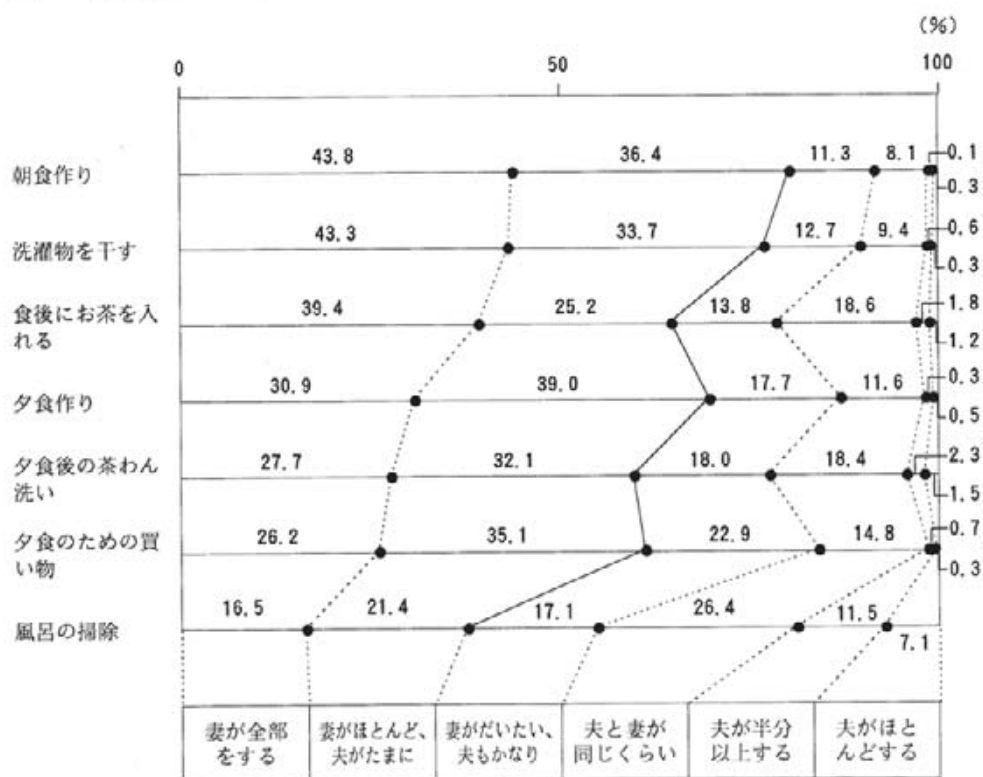


図25 家事分担（韓国）

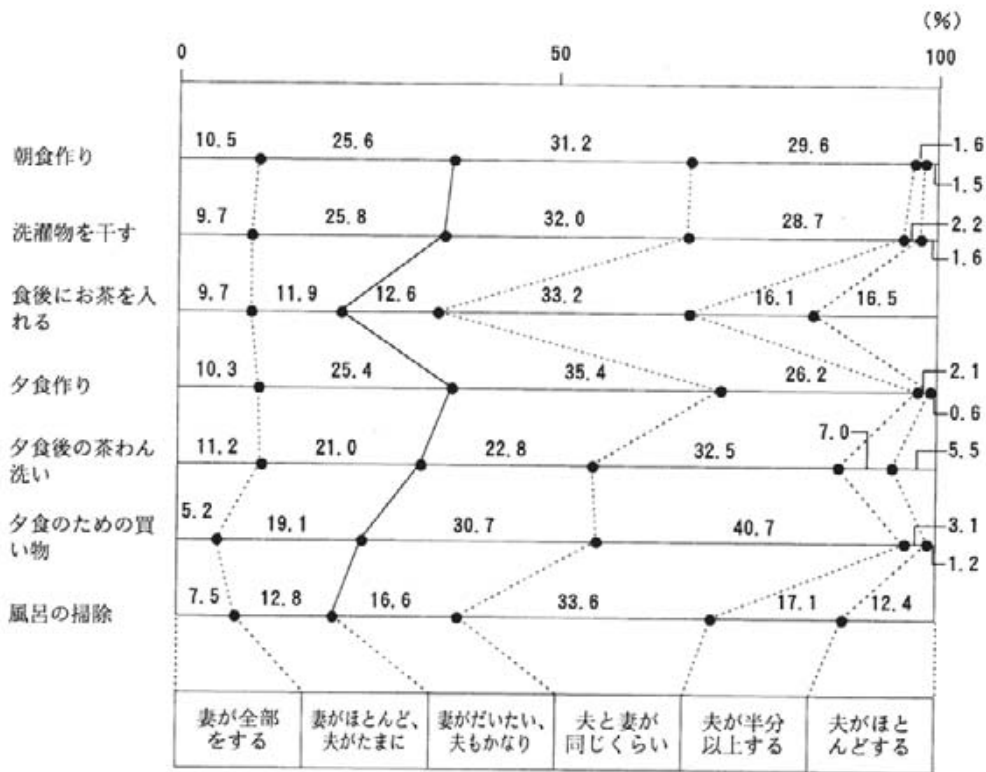
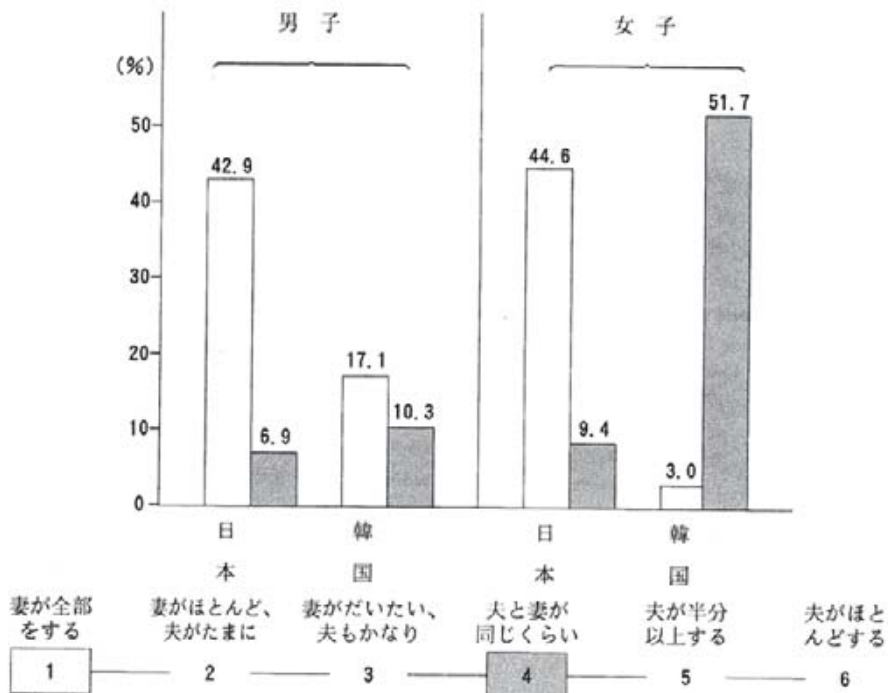


図26 朝食作り（日韓）



3. 女性の生き方

こうした傾向がはっきりとあらわれたのが表11（図27）であろう。

日本の男子は子どもが生まれたら奥さんは

家庭に入るとしており、女子たちも子育て期間は家庭にいるのを当然と考えている。

それに対し韓国では、女子の7割が「ずっ

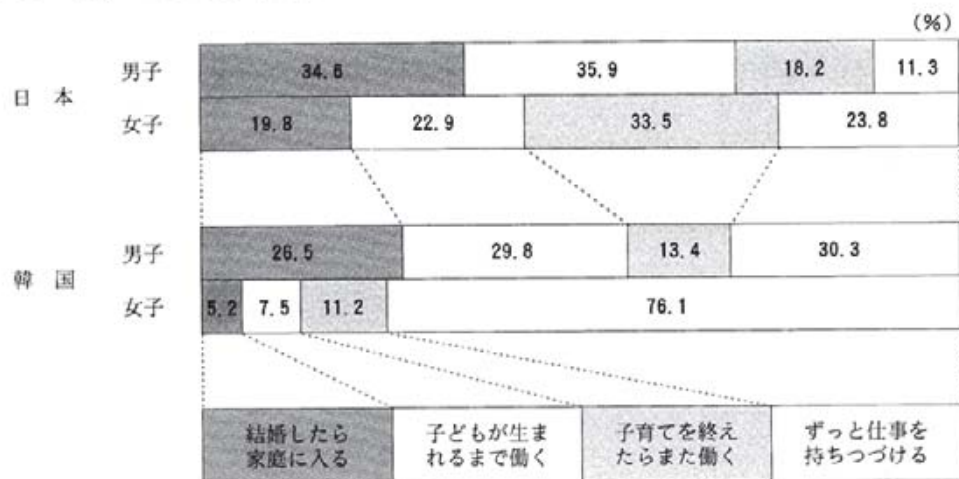
表11 女性の生き方（日韓）

(%)

	日 本			韓 国		
	全 体	男 子	女 子	全 体	男 子	女 子
結婚したら家庭に入る	27.4	34.6	19.8	16.5	26.5	5.2
子どもが生まれるまで働く	29.7	35.9	22.9	19.4	29.8	7.5
子育てを終えたらまた働く	25.6	18.2	33.5	12.4	13.4	11.2
ずっと仕事を持ちつづける	17.3	11.3	23.8	51.7	30.3	76.1

○ は最大値

図27 女性の生き方（日韓）



と仕事を持ちつづけるつもり」と答えている。もともと、男子はそう思っていないので、韓国の場合、仕事を持ちつづけた女子と、家庭のなかにおいてほしい男子との間の溝が大きいように思う。

そこであらためて、図24の家事分担を例にとって、「夫と妻が同じくらい」と「夫が半

分以上+ほとんどする」割合を、男女別にまとめてみると、図28のようになる。

日本の場合、夫婦ともに家事をするなど、男女ともに考えていない。しかし韓国の場合、図29が示すように、女子は男女ともに家事をするのを望んでおり、男子も、女子の勢いに押されるように家事を手伝おうとしている。

図28 家事分担（日本）

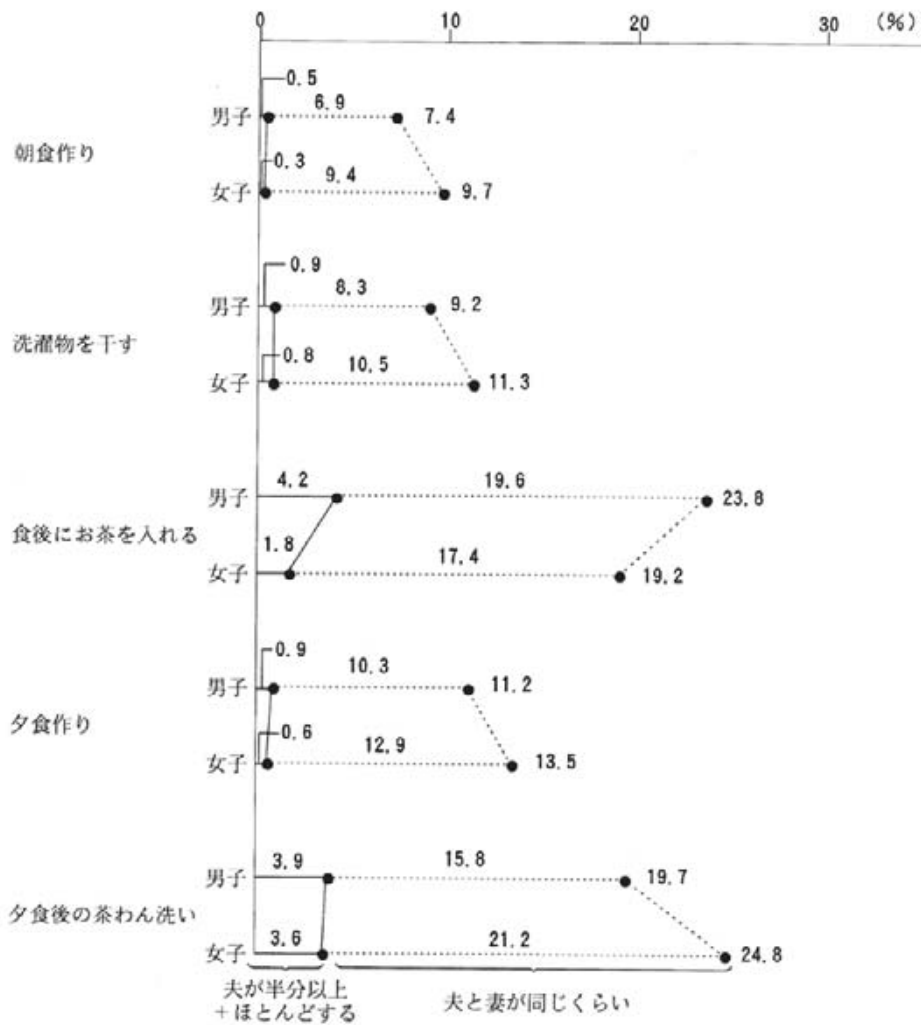
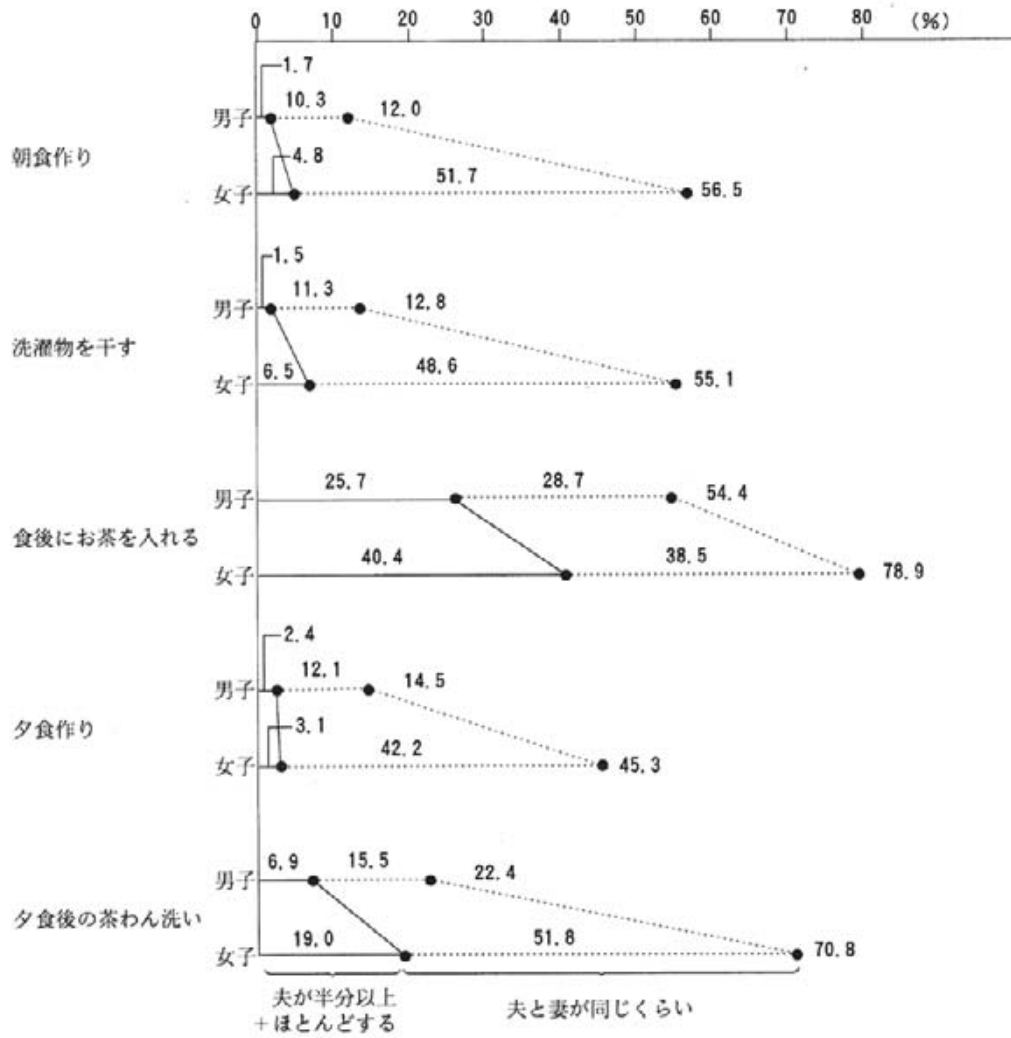


図29 家事分担（韓国）



第IV章 日韓のイメージ



1. アメリカの高校生

それでは日韓の高校生は、それぞれの社会についてどういうイメージを抱いているのか。

表12は、どこの社会に生まれてきたいのかだが、日本の高校生の3割は日本に生まれてきたいと思っているのに対し、韓国の生徒は韓国他に、スイスに生まれてきたいと答えている。

また、自分のタイプについての日韓の反応は図30～31だが、ここでは日韓の開きは少ない。

それでは高校生たちは、それぞれの社会の高校生について、どういうイメージを抱いているのか。

その前に、第三者ともいうべきアメリカの高校生についてのイメージを図32～33に示し

た。

	日本	韓国	
・スポーツを楽しむ	ほとんど	46.5%	46.2%
	かなり	43.8%	46.7%
	小計	90.3%	92.9%
・異性とデートしている	ほとんど	49.5%	69.4%
	かなり	40.5%	26.7%
	小計	90.0%	96.1%
・放課後ディスコへ行く	ほとんど	42.9%	32.7%
	かなり	44.8%	53.2%
	小計	87.7%	85.9%

このように日韓ともに、アメリカの高校生はスポーツをしたり、異性とデートしたりして、楽しい高校生活を送っているという見方は共通している。

表12 生まれてきたい国（日韓）

(%)

	日 本	韓 国
日 本	31.6	4.3
スイス	17.0	28.2
オーストラリア	16.2	13.9
アメリカ	11.9	13.9
イギリス	9.0	7.8
中 国	1.0	0.6
旧ソ連	0.3	0.5
韓 国	0.2	22.6
その他	12.8	8.2

図30 自分のタイプ（日本）

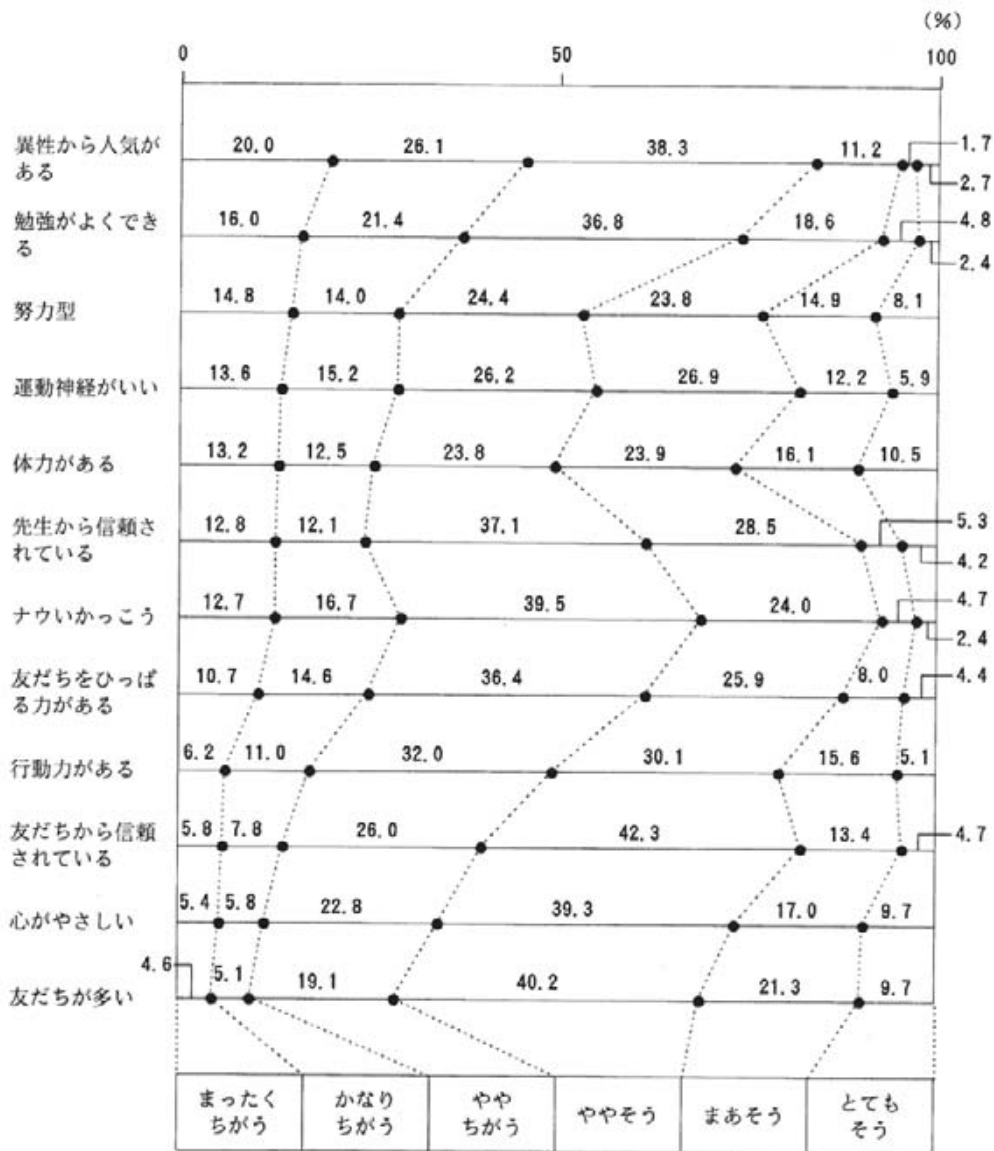


図31 自分のタイプ（韓国）

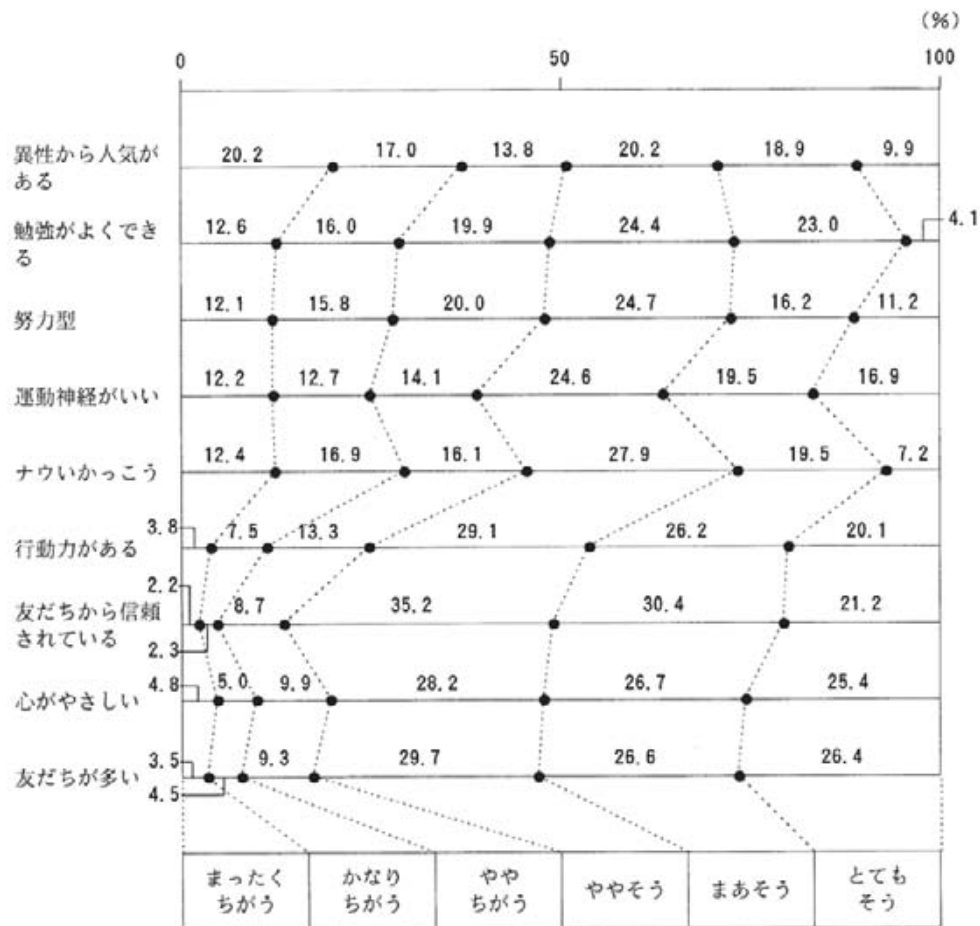


図32 アメリカの高校生（日本）

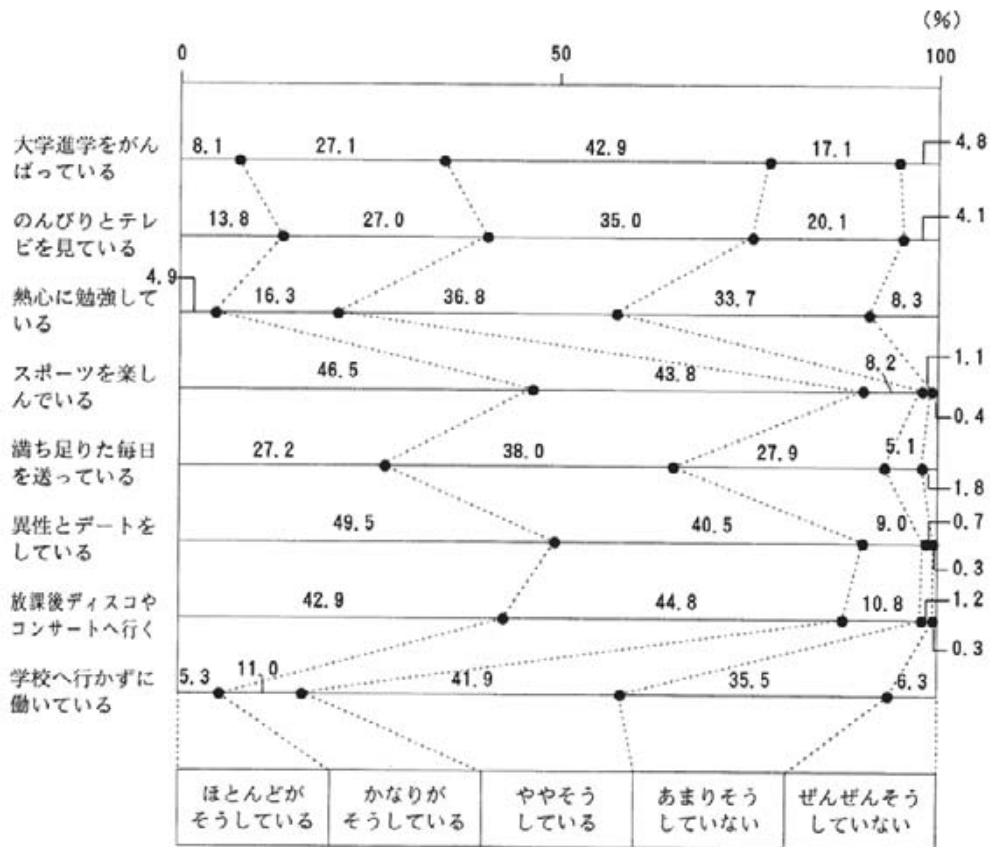
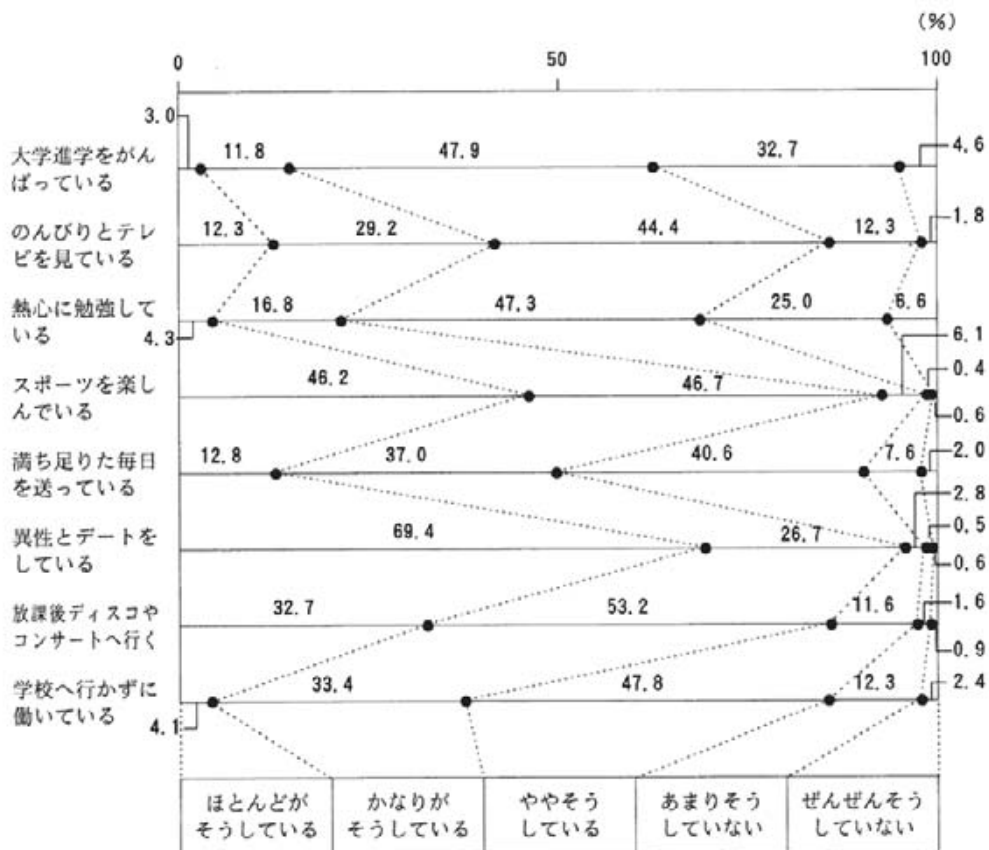


図33 アメリカの高校生（韓国）



2. 日本の高校生

それでは日本の高校生のイメージはどうなっているのか。日本の高校生の自己評価を図34に示した。そして、韓国の高校生が見た日本の高校生像を図35にまとめてみた。

〈日本の高校生の自己評価〉

ほとんどが
そうしている + かなりが
そうしている = 小計

- ①大学進学をがんばっている $31.9\% + 46.4\% = 78.3\%$
- ②スポーツを楽しんでいる $11.7\% + 42.1\% = 53.8\%$
- ③熱心に勉強している $14.4\% + 39.0\% = 53.4\%$

〈韓国の高校生の見た日本の高校生〉

- ①熱心に勉強している $32.2\% + 47.0\% = 79.2\%$

②大学進学をが

んばっている $32.4\% + 39.9\% = 72.3\%$

③異性とデート

している $12.9\% + 27.7\% = 40.6\%$

大学進学を目指して勉強をがんばっているという見方は日韓に共通している。一方、違いが目につくのは以下の項目である。

日本 韓国

- ・のんびりとテレビを見ている $47.0\% > 14.9\%$
- ・スポーツを楽しんでいる $53.8\% > 37.4\%$
 (「ほとんど」+「かなり」がそうしている割合)
つまり、韓国の高校生は日本の高校生もテレビを見ないでがんばっていると思っている。しかし、日本の高校生はそれほどがんばっていないと答えている。

図34 日本の高校生（日本）

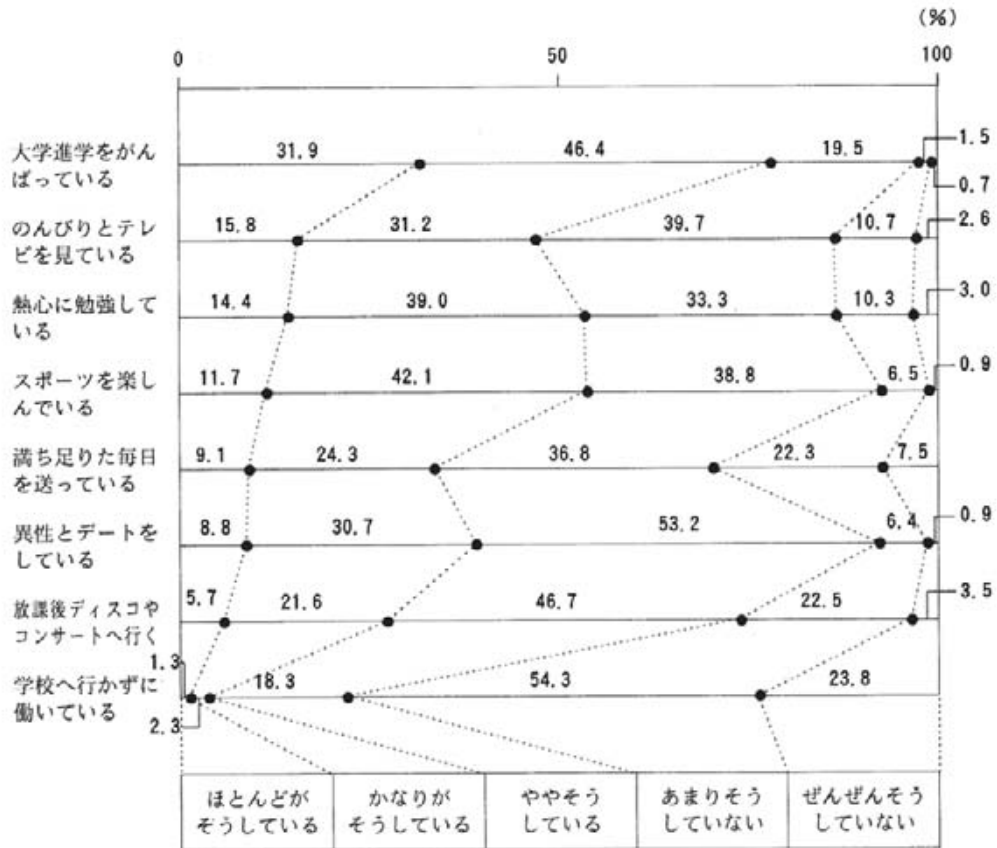
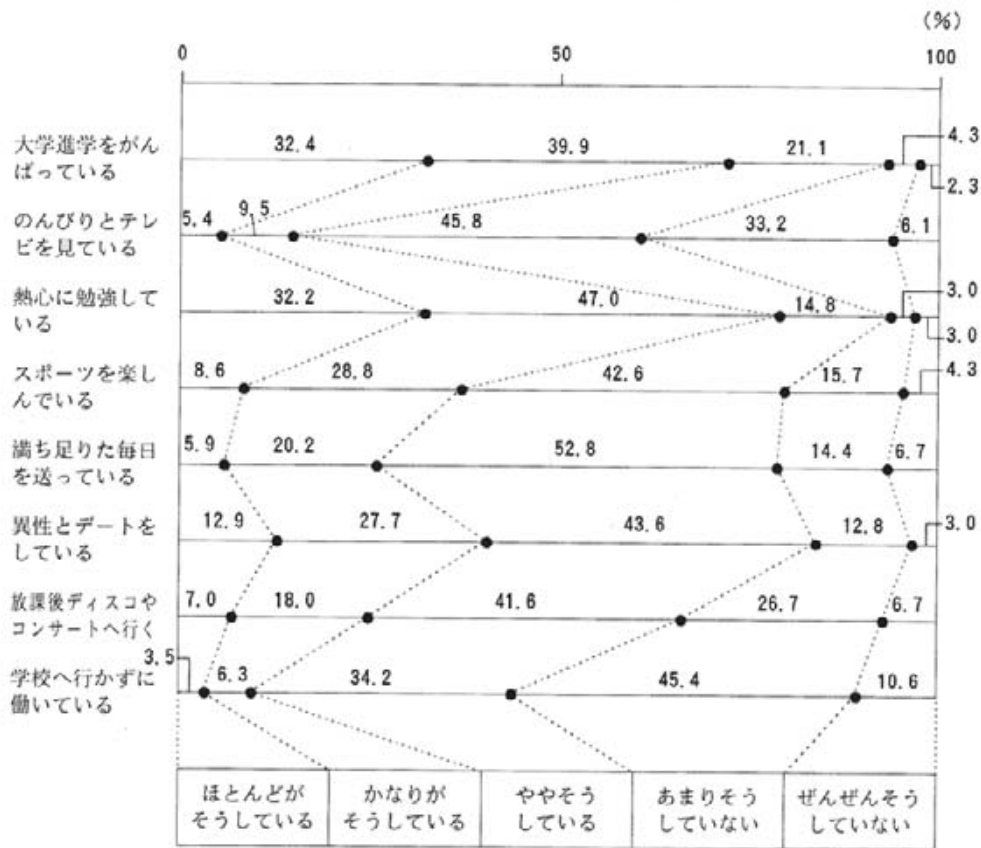


図35 日本の高校生（韓国）



3. 韓国の高校生

それでは、韓国の高校生については、韓国の高校生はどのような自己評価を下し、それに対し日本の高校生は、韓国の高校生をどう見ているのか（図36）。

〈韓国の高校生の自己評価〉

ほとんどが
そうしている + かなりが
そうしている = 小計

- ①大学進学をがんばっている 43.3% + 36.0% = 79.3%
 - ②熱心に勉強している 35.6% + 41.6% = 77.2%
 - ③スポーツを楽しんでいる 9.8% + 24.3% = 34.1%
- それに対し日本の高校生は、韓国の高校生

をどうとらえているのか（図37）。

〈日本の高校生の見た韓国の高校生〉

ほとんどが
そうしている + かなりが
そうしている = 小計

- ①熱心に勉強している 24.6% + 41.3% = 65.9%
 - ②大学進学をがんばっている 21.3% + 30.3% = 51.6%
 - ③スポーツを楽しんでいる 8.6% + 28.5% = 37.1%
- そうした意味では、大学進学を目指してがんばっているという韓国の高校生の姿は、韓国の高校生もそう思い、日本の高校生もそう考えているものなのであろう。

図36 韓国の高校生（韓国）

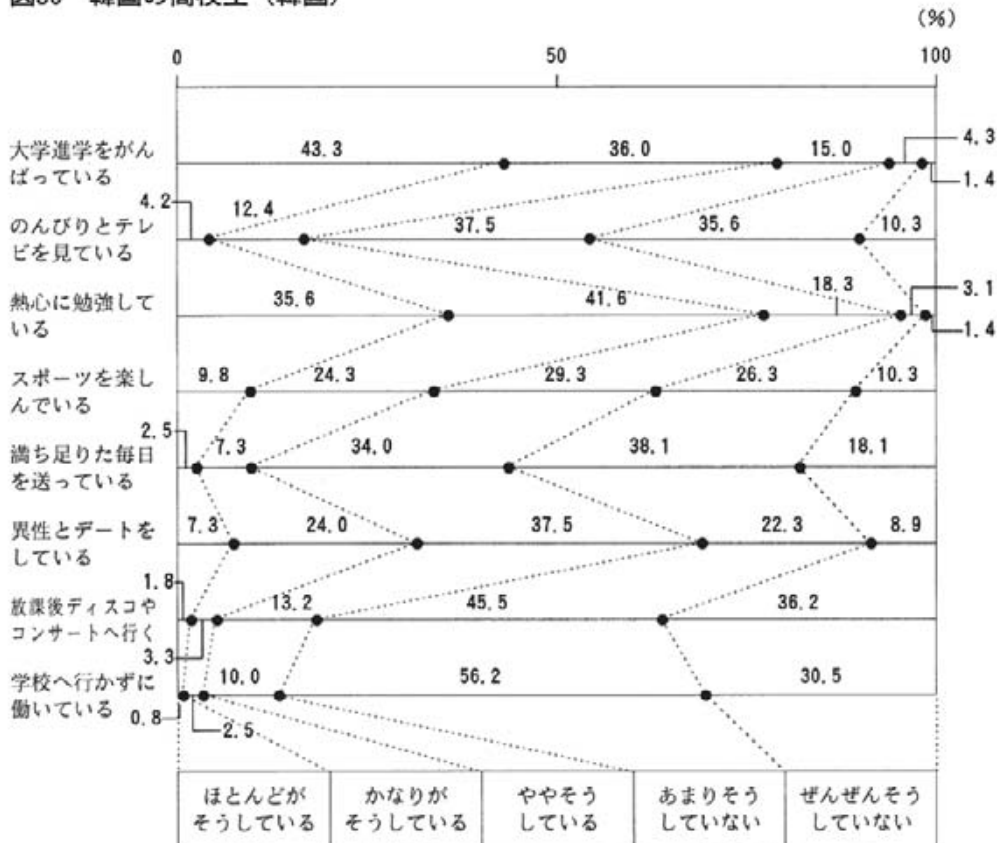


図37 韓国の高校生（日本）

